

同志社女子大学 学報 しばぐさ

第1号(1962)～第34号(1995)

執筆者名索引

(準備第2版)

>>> 関係者の皆様にお願ひ <<<

- ◎ 『学報 しばぐさ』は1962～95年の34年間に約1560本の記事(その時々
の報告、論説、随想、写真など。学生募集広告を除く)を載せています。うち、
執筆者名を明記したものは約950件。この意味で、本書は本学の、この時代
の歴史の第一級史料であるということが出来ます。
- ◎ この索引は、『学報 しばぐさ』の記事を、より簡便に利用するために作成
するものです。さきに(2006年7月)ご検討に供しました「準備版」にたいして
頂戴したご意見に従い、前版では省略していた座談会の出席者(発言者)
や、紹介、顕彰、送別、追悼等の記事の対象となった個人(いわゆる「被伝
者。とりあえず、記事のタイトルに名前が含まれている、同志社関係者に限っ
ていますが)の名からも検索できるようにしました。これによって、検索の可能
性は大きく広がったと考えています。
- ◎ 本「索引」についてご関係者各位から一層のご批判をいただいて、より使
いやすいものとして完成させていきたいと考えています。ご検討、よろしくお
願ひします。
- (『学報 しばぐさ』のバックナンバーは、史料室、および今出川図書館に保
存されています。)

史料室

同志社女子大学史料室

2007

序

本資料は、同志社女子大学の『学報 しばぐさ』の第1号（1962〈昭和37〉年）～第34号（1995〈平成7〉年）までの各号の、執筆者（共著者、編集者、翻訳者、対談者、座談会の出席者を含む）を明記した記事の索引である。あわせて対象者名をタイトルに含む人物関係記事（特定の人物に関する紹介、顕彰、送別、追悼等の記事、ただし、同志社関係者に限る）の「被伝者」名による索引をも含めた。

『学報 しばぐさ』に先立って同志社女子大学は、5年間にわたって一連の出版物を刊行、学生の家庭を対象に配布している。

1957（昭和32）年8月 『再びアメリカを訪れて』（瀧山徳三・季乃〔著〕 26p）

1958（昭和33）年8月 『学報 MEMORANDA 私はどう思う』（教職員16名が執筆 58p）

1959（昭和34）年8月 『随想』（教職員22名が執筆 54p）

1961（昭和36）年8月 『三十三人集』（教職員33名が執筆 65p）

そして、この『三十三人集』にはじめて瀧山徳三による「編集後記」がつけられている。それによると上記の4編はすべて瀧山の編集によるものであり（「執筆者は私が依頼した」と書いている）、『随想』と『三十三人集』との間にあたる1960年には「四号に代って校庭の芝生の絵はがき四枚を配布した」とあって、瀧山にとっては、少なくともこの時点でこれらの出版物が毎年刊行する逐次刊行物と意識されていたことがわかる（この意味で『三十三人集』はシリーズ第5号にあたることになる）。

瀧山徳三（1896 - 1973）は、同志社女子大学第3代学長として1953（昭和28）年4月から1960（昭和35）年9月30日までの7年間在任、さらに1961（昭和36）年3月から6月までは同年2月の第4代・加藤謙爾学長の病死にともない、学長事務取扱に任じた。これらの出版物は、瀧山がこの編集後記に「この種のものを暑中休暇に発行するのは、学生が家庭に在る時期に配布するのが賢明と思うからである。」と書いているとおり、当初は夏期休暇中の学生に、教員の、普段教室では見せない一面を表したエッセイを届けることにより、教員への親近感を強めるとともに学習意欲を高め、かたがた学生の父母に、その子女を指導する教員の ひととなり を理解してもらうためでもあった。すなわち、同志社女子大学の初期における学生・父母向けの広報誌だったといえる。

1961（昭和36）年7月に越智文雄が第5代学長に就任すると、この「広報誌」は、より機能的、組織的に再編されて『学報・しばぐさ』として、年一回刊行の本学広報誌と位置づけられることとなった。主として父母にアピールすることを意識した記事内容で、一時は毎号その年の父兄会（のちに栄光会）の会長の挨拶も掲載されていた。

『学報・しばぐさ』のタイトルは、現在も定期的に刊行し続けられているが、1997（平成9）年の第35号以降は編集方針が大幅に変更された。すなわち、教職員紹介的な記事や父母へのアピールなどの「対外広報」的な部分は、この年本学の総合的な広報誌として創刊された季刊の『Vine』にゆずり、もっぱら大学の諸活動を記録し、大学の現状と課題について学内の教職員に周知せしめることを目的とする、いわば「対内広報」的な方向をめざすことになったのである。

この索引を第1～34号の範囲に限定したのは、第35号以降は、この編集方針の変更により、署名記事といえば学長や各部長による「年次報告」的なもののほかは、退職者のメッセージ、物故元・現教職員への追悼文のみとなり、「執筆者名による検索」という考え方が殆んど意味をなさなくなっていると判断したためである。

（2007年1月改訂）

凡 例

1. 個人名(執筆者、共著者、編集者、翻訳者、対談者、座談会の出席者、およびタイトル中の対象者名など)を第一配列順位、掲載号数を第二配列順位として配列した。同じ号中に同一人名によるものが複数あるときは掲載ページの順によった。
2. 共著、翻訳、対談、座談会など、執筆者欄に複数の個人名があるときは、全ての人名から検索できるようそれぞれの個人名をその該当する位置に副出し、副出した人名を太字にした。ただし、座談会における出席者は、司会者名(太字)の位置に全員を載せるにとどめ、個々の出席者の位置には「司会:司会者名 / 出席:その出席者名(太字)、他」と記載してその他の出席者名の記述を省略した。
3. タイトル中に含まれた「被伝者」名には、その姓名(名の部分を欠くものはマルガッコに入れて補記した)を太字としてその該当する位置に副出した。ただし、対象者の姓名がタイトルに含まれない場合、気がついたものは補記して副出したが、見落としている可能性がある。なお、同志社関係者以外の人名については副出を省略した(エズラ・パウンド、メンデルスゾーン、(上田)秋成、など)。
4. 人名の配列は姓一名のローマ字順によった。ローマ字は原則としてヘボン式(藤=fuji、柴=shiba、など)によるが、長音など、一部にはワープロ式(大塚=ootsuka、太郎=tarou、など)によっている。
5. 時期によって二様の漢字表記が見られる人名は、後に用いるかたちに統一した(沢→澤、真→眞など)。
6. 収録期間中に改姓した事実があったとしても、改姓した個人名を、現、旧姓のいずれかに統一したり、現、旧姓間を相互に参照することはしていない。
7. 多様なヨミが予想される文字、あるいは、難読の文字は、独断によってヨミを決定した(藤解→fujitoki、達→tsuji、など)。
8. 欧米人名は、原則として原綴りにより、姓(ファミリーネーム)から配列した。原綴りが不明のものは、調査を省略し、原綴りのかたちを推定して配列した(アルベサール→Arbe…、フランク→Fran… など)。
9. 各ページ冒頭の見出し中「記事番号」とは、「総目次」における記事の通し番号である。
10. 3、6、7、8にあげた事柄について、ご存知よりのことがあればご教示いただきたい。

以上

A

A

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
安部 典子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 24日間アメリカ研修	20	19	1981・08	851
阿部 登茂子	随想 ラット君と実験	7	46	1968・07	256
阿部 登茂子	海外だより ユタでの生活－食生活を中心に	18	42	1979・08	763
阿部 登茂子	随想 京の顔－鴨川	32	47	1993・07	1436
阿部 登茂子	松山先生をお送りする言葉	25	51	1986・07	1113
司会:赤塚 忠一 出席:赤地 和美、他	座談会 今年の就職を振り返って	24	4	1985・07	1053
明石 謙治	随想 風の吹き抜ける花壇に	33	46	1994・08	1480
赤塚 忠一	学内消息 父兄会だより	11	80	1972・07	437
赤塚 忠一	学内消息 父兄会だより	12	61	1973・07	481
赤塚 忠一	学内消息 父兄会だより	13	58	1974・07	531
赤塚 忠一	学内消息 父兄会だより	14	101	1975・11	587
赤塚 忠一	学内消息 父兄会だより	15	68	1976・06	635
赤塚 忠一	学内消息 父兄会だより	16	93	1977・07	689
赤塚 忠一	学内消息 父兄会だより	17	88	1978・07	742
赤塚 忠一	学内消息 父兄会だより	18	83	1979・06	788
赤塚 忠一	学内消息 父兄会だより	19	96	1980・07	832
司会:赤塚 忠一 出席:赤地 和美、森川潤子、上戸 みかよ、西野 佳子、山内 睦子、宮澤 正典、花谷 明子	座談会 今年の就職を振り返って	24	4	1985・07	1053
赤塚 忠一	大学の就職業務と学生の就職状況	24	26	1985・07	1054
赤塚 忠一	入社当時の栄光館事務室	27	81	1988・07	1236
司会:酒井 康 出席:秋野 左多子、他	座談会 女子大学と社会	10	12	1971・07	365
秋野 佐多子	随想 ネコ三題	12	41	1973・07	467
秋田 次平	家庭と大学のコミュニケーション	23	6	1984・07	1011
天岡 久美子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 初めてのアメリカ生活の後で……	20	22	1981・08	852
安藤 唯一	随想 随想	4	18	1965・07	115
安藤 孝雄	随想 山のかなた	10	56	1971・07	375
安藤 孝雄	ずいそう 細峠	20	74	1981・08	884
安藤 孝雄	学内消息 家政学科だより	22	106	1983・08	995
安藤 孝雄	学内消息 大学院家政学研究科だより	22	108	1983・08	996
安藤 孝雄	学内消息 家政学部だより	23	85	1984・07	1038
安藤 孝雄	学内消息 大学院家政学研究科だより	23	86	1984・07	1039
安藤 孝雄	学内消息 図書館だより	26	113	1987・07	1179
安藤 孝雄	学内消息 図書館だより	27	97	1988・07	1243

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
青木 啓子	随想 ようやく・・・	26	75	1987・07	1169
青木 早苗	学園の四季 キャンプに参加して	16	64	1977・07	670
青笹 瞳	井栗正恵さんと寮食堂ー井栗さんをお送りする言葉	25	61	1986・07	1119
アルベサール・和子	随想 シュブルーズの谷	11	48	1972・07	416
有賀 のゆり	随想 西洋音楽における静と動	5	31	1966・07	160
司会:武 邦保 出席:有賀 のゆり、他	座談会 同志社女子大学の学生を語る	9	12	1970・07	327
有賀 のゆり	追悼 故中瀬古和先生について	13	21	1974・07	505
司会:有賀 のゆり 出席:片桐 哲、加藤 テイ、別所 秀子、福原 春代、越智 文雄	座談会 同志社よもやま話ー草創期の先生がたを囲んで	14	29	1975・11	558
有賀 のゆり	学内消息 音楽学科だより	15	65	1976・06	632
有賀 のゆり	特集・女子と教育 「女子と教育」-同志社女子部教育百周年に際して想う	16	36	1977・07	655
有賀 のゆり	学内消息 音楽学科だより	16	92	1977・07	688
有賀 のゆり	感謝をこめて(尾見先生を送る)	17	40	1978・07	714
有賀 のゆり	学内消息 音楽学科だより	17	86	1978・07	741
有賀 のゆり	追悼・片桐哲先生 片桐先生の思い出	22	21	1983・08	966
有賀 のゆり	退職にあたって 同志社とわたし	33	56	1994・08	1485
武 邦保	有賀鉄太郎 教授への思い	17	41	1978・07	715
浅川 具美	研究ノート 油脂の変敗を簡単に見分ける方法	15	47	1976・06	622
浅川 具美	ずいそう スタントンであった人々	21	42	1982・08	924

B

H.B.BAUMGARTEN FR H. BEACH 村上 八千代・訳	1958 and 1978---Impressions Then and Now ある生涯 ミス・ビーチの手紙	18	51	1979・06	766
瀧山 季乃	ビーチ(Beach, Henricka B.)先生素描	4	8	1965・07	112
辻 裕子	追悼 ベッドフォード(Bedford, Richerd C.)先生をお偲びして	25	38	1986・07	1108
別所 秀子	随想 思い出	2	40	1963・06	41
別所 秀子	学内消息 建築委員会報告	3	55	1964・07	78
別所 秀子	学内消息 家政学科だより	6	55	1967・07	223
別所 秀子	大正期の同志社女学校専門学部を訪ねて	19	8	1980・07	800
別所 秀子	追悼・片桐哲先生 御肖像を拝しつつ	22	15	1983・08	964
別所 秀子	特集 ミス・デントン デントン先生の思い出	11	15	1972・07	409
司会:別所 秀子 出席:片桐 哲、瀧山 徳三、E. L. ヒバード	座談会 同志社女子大学創設のころ	3	14	1964・07	65
司会:有賀 のゆり 出席:別所 秀子、他	座談会 同志社よもやま話ー草創期の先生がたを囲んで	14	29	1975・11	558
武間 富貴	昭和四十三年度卒業式祝辞	8	52	1969・07	298

B

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
武間 富貴	追悼・片桐哲先生 片桐哲先生のエピソードあれこれ	22	12	1983・08	963
C					
J. W. CARPENTER	随想 『サラダ記念日』を英訳するにあたって	28	51	1989・07	1272
長南 敏彦	随想 田辺の坂	28	58	1989・07	1275
F. B. CLAPP	同志社の皆さまへ	5	14	1966・07	150
中瀬古 和	クラブ(Clapp, Frances B.)先生と私	5	15	1966・07	151
中村 貢	クラブ(Clapp, Frances B.)先生のこと	5	17	1966・07	153
大西 マサエ	クラブ(Clapp, Frances B.)先生と私	5	19	1966・07	155
鴛淵 邵子	追悼 クラブ(Clapp, Frances B.)先生を偲んで	16	60	1977・07	667
鴛淵 邵子	聞き書き クラブ(Clapp, Frances B.)先生と私	17	28	1978・07	710
カニングハム・久子	身障児教育に生きる	14	52	1975・11	560
カニングハム・久子	特集・女性と社会 「私のIdentity」	21	12	1982・08	913
D					
鴛淵 紹子	随想 デントン(Denton, Mary Florence)先生とパイプオルガン	2	23	1963・06	32
河村 とみ	特集ミス・デントン(Denton, Mary Florence) デントン先生の思い出	11	12	1972・07	406
久保 貞子	特集ミス・デントン(Denton, Mary Florence) デントン先生とガールズ	11	13	1972・07	407
瀧山 徳三	特集ミス・デントン(Denton, Mary Florence) 昔話	11	14	1972・07	408
別所 秀子	特集ミス・デントン(Denton, Mary Florence) デントン先生の思い出	11	15	1972・07	409
中村 貢	特集ミス・デントン(Denton, Mary Florence) メリー・フロレンス・デントン先生略年譜	11	17	1972・07	410
阪田 寛夫	同志社とわたしの家族 デントン(Denton, Mary Florence)さん	14	58	1975・11	563
中村 貢	学園散歩 デントン(Denton, Mary Florence)先生婚約の謎	14	72	1975・11	569
土井 幸恵	特集・女子大学の就職戦線 社会人一年生からのアドバイス「私の就職活動」	32	32	1993・07	1430
E					
枝澤 康代	随想 シドニー雑感	27	49	1988・07	1224
枝澤 康代	随想 カンザスの町から	33	50	1994・08	1482
F					
リヒャルト・フランク	ずいそう ゲザ・アンダのこと	21	46	1982・08	926
藤井 義久	随想 虫もころさぬということ	1	35	1962・06	15
藤井 義久	学内消息 図書室だより	5	51	1966・07	179
藤井 義久	学内消息 学生課だより	6	48	1967・07	218

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
藤本 節子	随想 休日	5	32	1966・07	161
藤本 節子	特集 図書館と私 断想	15	19	1976・06	607
藤本 節子	断想	24	39	1985・07	1059
宇田 眞子	藤本(節子)先生、ご苦労さまでした	24	41	1985・07	1060
藤本 徳明	研究ノート 中世説話集に見る人間認識	33	30	1994・08	1473
藤解 青生	ずいそう こんにちはー卒業にまで一時	18	61	1979・06	774
藤原 バーバラ	研究ノート 自己発見としての言語学習	27	38	1988・07	1219
藤原 バーバラ	随想 Ain't I a Woman?: Powerful African-American Voices	34	41	1995・08	1525
深田 尚彦	随想 死と生と	1	40	1962・06	17
深田 尚彦	随想 私の心理学	3	47	1964・07	73
深田 尚彦	随想 草木	7	41	1968・07	254
深田 尚彦	論評 大学と学問	8	6	1969・07	286
深田 尚彦	学内消息 一般教育だより	12	54	1973・07	475
深田 尚彦	研究ノート 絵画の形成	13	39	1974・07	518
深田 尚彦	学内消息 一般教育だより	13	51	1974・07	525
深田 尚彦	特集・女子と教育 大学教育のあり方	16	44	1977・07	660
深田 尚彦	図書館について 私の読書と図書館	17	6	1978・07	701
深田 尚彦	学内消息 図書館だより	17	79	1978・07	735
深田 尚彦	学内消息 図書館だより	18	76	1979・06	781
深田 尚彦	研究ノート 私の「描画心理学」回顧	23	41	1984・07	1021
深田 尚彦	酒井康先生を送る	25	54	1986・07	1115
深田 尚彦	同志社女子大学家政学会の事	26	22	1987・07	1152
深田 尚彦	28年の記憶	28	69	1989・07	1280
深野 陽子	随想 豪州クイーンズランド大学にて	8	34	1969・07	289
福田 京一	随想 紉の森	12	32	1973・07	460
福田 京一	ずいそう 育児について	19	63	1980・07	814
福田 京一	研究ノート 旅の寓意	24	48	1985・07	1064
福田 京一	学内消息 英文学科だより	27	105	1988・07	1246
福田 京一	海外だより アメリカで思うこと	32	59	1993・07	1442
福田 由美子	随想 愛犬 ”アコ”	29	49	1990・07	1319
司会:市岡 奈々子 出席:福田 由美子、他	座談会 <雑談>一年目の田辺ー新学園の創出を語る	26	38	1987・07	1156
福原 春代	随想 誰がために衣服を	2	53	1963・06	47
福原 春代	卒業後10年 卒業生の状況	3	79	1964・07	101
福原 春代	無くなった寮の物語 常盤寮東館	15	43	1976・06	620
司会:有賀 のゆり 出席:福原 春代、他	座談会 同志社よもやま話ー草創期の先生がたを囲んで	14	29	1975・11	558
福本 一	随想 風変わった帽子	10	52	1971・07	373

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
福本 一	学内消息 研究所だより	18	74	1979・06	780
福本 一	学内消息 研究所だより	19	87	1980・07	824
福本 一	ずいそう ワシントン桜見物	18	54	1979・06	769
福本 一	学内消息 研究所だより	20	92	1981・08	890
福本 一	随想 「国際化」に思う	27	44	1988・07	1221
福本 一	退職にあたって 私の歩んだ道－英語教育	34	61	1995・08	1534
福本 俊之	特集 女子大学の将来 女子教育の将来を語る	12	23	1973・07	455
船見 裕子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 スタントンにて	20	15	1981・08	848
古橋 忠兵衛	一花開天下春	22	6	1983・08	961
古橋 有紀子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 Home Stay にて	20	40	1981・08	866
古川 紘二	特集・就職 企業からの声 女子大生の就職について思うこ と	27	13	1988・07	1205
房岡 昭一	退職にあたって 回想	32	69	1993・07	1447
二口 エリ子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 いまさら(?) おもうこと	20	26	1981・08	855

G

学生部厚生課	本学における下宿生生活費の実態について	15	36	1976・06	617
S. M. GAY	国際交流 Repot on Three Months at Doshisha Women's College	23	25	1984・07	1017
愚作人	変る旅路	17	27	1978・07	709
愚作人	評論家とイエス	18	62	1979・06	775
愚作人	変る旅路	20	65	1981・08	880
司会:小室 節子 出席:行司 千絵、他	特集・女子大学の就職戦線 座談会・就職活動を振り返って	32	8	1993・07	1429

G

H

羽田 多美子	随想 サルトルと能	10	43	1971・07	368
萩原 溢恵	随想 中世そのままの町マールブルクでのこと	2	50	1963・06	46
土師 信子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 私の体験し たアメリカ	20	44	1981・08	870
濱口 義信	随想 マンガの読み方	31	52	1992・07	1399
司会:小室 節子 出席:濱地 美加、他	特集・女子大学の就職戦線 座談会・就職活動を振り返って	32	8	1993・07	1429
司会:市岡 奈々子 出席:浜崎 千春、他	座談会 <雑談>一年目の田辺－新学園の創出を語る	26	38	1987・07	1156
A. S. HAMILTON	特集・女子と教育 Women's Education in the British Isles—a personal view	16	49	1977・07	662
花谷 明子	ずいそう 道子と母	21	47	1982・08	927
花谷 明子	追悼 尾崎春美さんを偲んで	24	46	1985・07	1063
原 嘉寿子	研究ノート オペラ創作考－言葉・音・ドラマ	26	56	1987・07	1159
原田 賢之	随想 ずいそう	11	46	1972・07	414

H

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
秦 芳江	明治のしばぐさー同志社女学校期報	3	52	1964・07	76
秦 芳江	中近東共産圏の女子学生	6	20	1967・07	202
司会:武 邦保 出席:秦 芳江、他	座談会 同志社女子大学の学生を語る	9	12	1970・07	327
司会:秦 芳江 出席:望月 満子、鷺淵 邵子、唐澤 郁夫、大塚 肇、森 淑子	座談会 同志社女子大学家政学部の過去・現在・未来を語る	18	6	1979・06	753
秦 芳江	研究ノート 大学で近代体育を学んだ最初の日本人、新島先生	22	59	1983・08	982
秦 芳江	学内消息 一般教育だより	24	100	1985・07	1086
秦 芳江	学内消息 一般教育だより	25	101	1986・07	1136
服部 尚巳	随想 日本で開かれた国際学会	30	43	1991・07	1359
服部 尚巳	海外だより 私のウィーン便り	31	64	1992・07	1404
服部 眞由子	特集・就職 卒業生の声 就職活動について	27	26	1988・07	1212
服部 匡	研究ノート プラスとマイナスの表現について	34	28	1995・08	1519
早川 操子	特集・女子と教育 卒業して想う	16	46	1977・07	661
林 彰	随想 創造ということ	5	33	1966・07	162
林 淳一	随想 一月の日記	2	32	1963・06	37
林 淳一	随想 随想	6	28	1967・07	204
司会:酒井 康 出席:林 淳一、他	座談会 同志社女子大学の教育と研究	8	10	1969・07	287
林 淳一	学内消息 家政学部だより	8	65	1969・07	304
司会:武 邦保 出席:林 淳一、他	座談会 同志社女子大学の学生を語る	9	12	1970・07	327
林 淳一	学内消息 家政学部だより	9	64	1970・07	344
林 淳一	学内消息 大学院家政学研究科だより	9	67	1970・07	345
林 淳一	特集 図書館と私 大学生活と図書館	15	12	1976・06	603
林 淳一	学内消息 教務部だより	18	63	1979・06	776
林 淳一	学内消息 教務部だより	19	74	1980・07	820
林 淳一	学内消息 教務部だより	20	79	1981・08	886
林 淳一	追悼・片桐哲先生 片桐先生	22	24	1983・08	967
林 淳一	研究ノート 私の研究	30	28	1991・07	1352
林 淳一	退職にあたって 同志社を去るにあたって	32	64	1993・07	1444
林 武彦	特集・就職 企業からの声 今、求められる人材とは	27	10	1988・07	1203
早内 高士	二十一世紀への旅立ち	28	4	1989・07	1263
辺見 雅子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 夏	20	23	1981・08	853
編集委員会	特集・今、大学に何をもちめるのかー同志社女子大学への期待と現実(アンケート総括)	33	9	1994・08	1472
E. L. HIBBARD	私の学芸大学論	2	5	1963・06	27
エスター・エル・ヒバド	別れにのぞんで	7	5	1968・07	243

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
司会:別所 秀子 出席:E. L. ヒバード	座談会 同志社女子大学創設のころ	3	14	1964・07	65
瀧山 徳三	ヒバード(Hibbard, Esther Lowell)先生	7	8	1968・07	244
杉瀬 祐	ヒバード(Hibbard, Esther Lowell)先生の信仰	7	13	1968・07	245
E. L. HIBBARD	同志社女子大学の誕生と生い立ち	14	20	1975・11	555
児玉 実英	ヒバード(Hibbard, Esther Lowell)先生のこと	18	47	1979・06	765
樋上 恵子	同志社人と社会	14	56	1975・11	562
東泉 純子	ずいそう 寒梅の咲く頃	25	69	1986・07	1123
東村 要子	特集・就職 卒業生の声 「アテンション・プリーズ」	27	21	1988・07	1209
平井 智子	学園の四季 私のいただいた恵み	16	62	1977・07	669
広坂 多衣子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 日本とアメリカの距離感	20	24	1981・08	854
廣瀬 千紗子	随想 重すぎて速く走れないー姑娘・王雁のこと	27	51	1988・07	1225
広田 阿岐子	随想 アルゼンチンの四季	11	47	1972・07	415
司会:市岡 奈々子 出席:本田 香織、他	座談会 <雑談>一年目の田辺ー新学園の創出を語る	26	38	1987・07	1156
本間 洋一	研究ノート 三条西実隆の漢詩ー中世貴族漢詩の再評価を	30	30	1991・07	1353
堀場 弘之	開学精神に思う	34	4	1995・08	1516
司会:市岡 奈々子 出席:堀野 好美、他	座談会 <雑談>一年目の田辺ー新学園の創出を語る	26	38	1987・07	1156

I

井深 八重	同志社大学名誉学位をいただいて	14	49	1975・11	559
井深 八重	特集・女性と社会 思い出を辿りて	21	8	1982・08	911
司会:市岡 奈々子 出席:本田 香織、堀野 好美、浜崎 千春、福田 由美子、熊 万由美、 山本 裕子、高田 寿子	座談会 <雑談>一年目の田辺ー新学園の創出を語る	26	38	1987・07	1156
青笹 瞳	井栗正恵さんと寮食堂ー井栗さんをお送りする言葉	25	61	1986・07	1119
池ノ内 寛治	随想 通勤列車	28	60	1989・07	1276
今村 彩子	特集 旅 私のヨーロッパ旅行	13	15	1974・07	501
今西 雅章	随想 あの木 この木	7	35	1968・07	250
今城 淳行	随想 声域雑感	5	33	1966・07	163
今城 淳行	研究ノート 音楽と言葉のはさまより	20	57	1981・08	877
今城 淳行	学内消息 音楽学科だより	20	97	1981・08	894
今城 淳行	学内消息 音楽学科だより	21	99	1982・08	944
今城 淳行	学内消息 音楽学科だより	22	104	1983・08	994
今城 淳行	学内消息 音楽学科だより	23	82	1984・07	1037
今城 淳行	学内消息 音楽学科だより	24	96	1985・07	1083
今城 淳行	田辺の日々	25	13	1986・07	1100

I

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
今城 淳行	学内消息 音楽学科だより	25	94	1986・07	1133
今城 淳行	学内消息 音楽学科だより	26	123	1987・07	1184
今城 淳行	海外だより Wienの裏通り	31	61	1992・07	1403
稲垣 定弘	随想 私の禁煙	10	50	1971・07	372
稲垣 定弘	研究ノート なぜ詩か	19	49	1980・07	809
稲垣 定弘	ずいそう 趣味？ 音楽と絵画と	25	64	1986・07	1121
稲垣 定弘	学内消息 AVセンターだより	26	133	1987・07	1189
稲垣 定弘	中先生—私とのかかわりで	27	73	1988・07	1234
稲垣 定弘	学内消息 AVセンターだより	27	119	1988・07	1253
稲垣 定弘	退職にあたって さようなら	32	66	1993・07	1445
井上 幸	随想 オーストラリアにて	7	48	1968・07	257
大塚 肇	追悼 故井上哲夫先生を偲んで	14	81	1975・11	574
井岡 みほ	フライブルグの学生生活より	14	55	1975・11	561
井岡 妙、松村 英世、 渋谷 ヒロ子	音楽学科頒啓会沿革	26	32	1987・07	1155
石田 章	随想 おさきばあさんのこと	1	27	1962・06	11
石田 章	アメリカの女性	6	16	1967・07	201
石田 章	学内消息 学生部だより	12	46	1973・07	470
石田 章	学内消息 学生部だより	13	42	1974・07	520
石田 章	学内消息 学生課だより	14	85	1975・1	576
石田 章	特集 図書館と私 冗話・あちらの図書館	15	10	1976・06	602
石田 章	学内消息 大学院文学研究科だより	18	79	1979・06	783
石田 章	越智先生のこと	19	35	1980・07	803
石田 章	学内消息 大学院文学研究科だより	19	91	1980・07	827
石田 章	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 女子大学海外夏期研修—実施までの経緯	20	8	1981・08	844
石田 章	恒藤先生をお送りする言葉	24	37	1985・07	1058
石田 章	田辺校地開校によせて—整備計画委員会からの報告をこめて	25	4	1986・07	1098
石田 章	二つの言葉	26	1	1987・07	1147
石田 章	偶感—「時」について	27	1	1988・07	1199
石田 章	大学における真の豊かさとは	28	1	1989・07	1262
石田 章	女子大学の将来—新島襄永眠百年に想う	29	1	1990・07	1305
石田 章	「学びたい」ひとと「学び直したい」ひとのために—女子大学のあるべき一つの姿	30	1	1991・07	1347
石田 章	女子大学の歴史の検証を	31	1	1992・07	1386
石井 宏美	特集・就職 卒業生の声 この一年をふりかえって	27	23	1988・07	1210
石村 雅子	随想 雑感	2	57	1963・06	49
石村 雅子	随想 ブラジル旅行記	6	29	1967・07	205

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
石村 雅子	学内消息 音楽学科だより	18	79	1979・06	784
石村 雅子	学内消息 音楽学科だより	19	91	1980・07	828
石村 雅子	同志社の思い出	30	57	1991・07	1366
石坪 英郎	一層のご理解とご協力を	24	2	1985・07	1052
伊東 成子	随想 雑感	12	38	1973・07	465
岩井 和子	随想 よろこび	2	48	1963・06	45
岩井 和子	学内消息 L・Lだより	5	56	1966・07	182
岩見 敬治	二一世紀に向って力強い御協力を	26	4	1987・07	1148
岩崎 良文	ずいそう「みなさん、おはようございます」	23	54	1984・07	1025
岩谷 幸春	随想 トレーニングと私	30	49	1991・07	1362
泉 敏夫	随想 石に思う	4	23	1965・07	118
泉 敏夫	フランスの若い女性	6	13	1967・07	200

K

角野 早月	学園の四季 修養会に参加して	17	64	1978・07	727
門前 正彦	研究ノート ラング？ パロール？	34	30	1995・08	1520
加賀 裕郎	研究ノート 偶然にして必然なプラグマティズムとの交わり	26	58	1987・07	1160
加賀美 道子	随想 ドイツ生活雑感	9	39	1970・07	331
司会:小室 節子 出席:加川 知可子、他	特集・女子大学の就職戦線 座談会・就職活動を振り返って	32	8	1993・07	1429
司会:赤塚 忠一 出席:上戸 みかよ、他	座談会 今年の就職を振り返って	24	4	1985・07	1053
鎌田 信一	鶴山寮の思い出	27	82	1988・07	1237
金谷 良三	随想 富士二た日	26	69	1987・07	1166
金田 弘光	日本とアメリカの大学教育について	27	62	1988・07	1229
カニングハム・久子	身障児教育に生きる	14	52	1975・11	560
カニングハム・久子	特集・女性と社会 「私のIdentity」	21	12	1982・08	913
冠野 真美	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 大きな賜り物	20	28	1981・08	856
唐澤 郁夫	随想 ある休日	1	21	1962・06	7
唐澤 郁夫	随想 思い出	5	34	1966・07	164
唐澤 郁夫	学内消息 大学院家政学研究科だより	10	79	1971・07	387
唐澤 郁夫	学内消息 家政学部だより	10	80	1971・07	388
唐澤 郁夫	学内消息 大学院家政学研究科だより	11	77	1972・07	434
唐澤 郁夫	学内消息 家政学部だより	11	77	1972・07	435
唐澤 郁夫	学内消息 家政学部だより	16	91	1977・07	686
唐澤 郁夫	学内消息 大学院家政学研究科だより	16	92	1977・07	687
唐澤 郁夫	学内消息 家政学部だより	17	84	1978・07	739
唐澤 郁夫	学内消息 大学院家政学研究科だより	17	86	1978・07	740

K

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
司会:秦 芳江 出席:唐澤 郁夫、他	座談会 同志社女子大学家政学部の過去・現在・未来を語る	18	6	1979・06	753
大塚 肇	唐澤(郁夫)先生追悼の記 在りし日の唐澤先生を偲ぶ	21	31	1982・08	919
越賀 玲子	唐澤(郁夫)先生追悼の記 唐澤先生を偲ぶ	21	33	1982・08	920
笠原 進	随想 夏みかん	12	36	1973・07	463
笠原 進	研究ノート 未知との遭遇	17	25	1978・07	708
笠原 進	随想 夏の楽しみ	29	38	1990・07	1313
片桐 哲	同志社と私	5	8	1966・07	147
瀧山 徳三	片桐(哲)先生の信念	5	12	1966・07	148
司会:有賀 のゆり 出席:片桐 哲、他	座談会 同志社よもやま話―草創期の先生がたを囲んで	14	29	1975・11	558
片桐 哲、武 邦保(対談)	特集・女子と教育 名誉教授片桐哲先生と語る	16	24	1977・07	653
越智 文雄	追悼・片桐哲先生 今は亡き片桐哲先生を偲ぶ	22	8	1983・08	962
武間 富貴	追悼・片桐哲先生 片桐哲先生のエピソードあれこれ	22	12	1983・08	963
別所 秀子	追悼・片桐哲先生 御肖像を拝しつつ	22	15	1983・08	964
有賀 のゆり	追悼・片桐哲先生 片桐先生の思い出	22	21	1983・08	966
林 淳一	追悼・片桐哲先生 片桐先生	22	24	1983・08	967
酒井 康	追悼・片桐哲先生 片桐先生を偲ぶ	22	26	1983・08	968
片山 登美子	随想 子供天国	5	35	1966・07	165
片山 登美子	家政東館(KT館)の思い出	18	28	1979・06	756
片山 登美子	退職にあたって 同志社とともに	34	63	1995・08	1535
片山 泰久	随想 言葉の話	6	30	1967・07	206
加藤 京子	図書館について 一卒業生の新図書館探訪記	17	14	1978・07	703
加藤 さだ	特集・女子と教育 女子部創立百周年に思う	16	15	1977・07	651
司会:有賀 のゆり 出席:加藤 テイ、他	座談会 同志社よもやま話―草創期の先生がたを囲んで	14	29	1975・11	558
河村 圭子	随想 寮生活の一端	3	50	1964・07	75
河村 圭子／種田 佐津喜	学内消息 寮だより	5	52	1966・07	180
河村 圭子	なくなった寮の物語	9	31	1970・07	328
河村 圭子	寮庭の花(短歌)	6	32	1967・07	208
河村 とみ	特集 ミス・デントン デントン先生の思い出	11	12	1972・07	406
川村 俊哉	随想 私がみたリゾート開発	29	45	1990・07	1317
河野 純枝	学園の四季 EVE祭をふり返って	16	65	1977・07	671
川崎 祐子	研究ノート 食物と癌	28	38	1989・07	1267
川崎 和英	退職にあたって 思い出	34	69	1995・08	1538
川島 幸子	研究ノート 歌うということ	25	36	1986・07	1106
川島 幸子	学内消息 音楽学科だより	27	107	1988・07	1248
河内 作三	同志社一回顧四十余年	27	83	1988・07	1238

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
風間 末起子	海外だより カンタベリー便り	26	77	1987・07	1170
風間 末起子	研究ノート 恋する女たち―ハーディの小説を楽しみながら	30	32	1991・07	1354
紀 嘉子	随想 クリスマスの夜	4	25	1965・07	120
紀 嘉子	学内消息 実習ハウスより	5	59	1966・07	184
紀 嘉子	特集・女子と教育 同志社女子部教育百周年に際して想う	16	39	1977・07	657
紀 嘉子	特集・女性と社会 女性の時代を迎えるにあたって	21	24	1982・08	917
紀 嘉子	研究ノート 環境醸成の学としての家政学を求めて	31	36	1992・07	1392
木方 克子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 私のキャン プリー体験	20	41	1981・08	867
司会:中村 信博 出席:菊池 良美、他	特集 座談会・「共に生きる」―震災とボランティア	34	9	1995・08	1518
菊永 省吾	ずいそう ルネサンスかぶれ	20	76	1981・08	885
菊岡 敬子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 Colonial Williamsburg	20	43	1981・08	869
木ノ桐 万紗子	私たちの学園 私の学生生活	6	39	1967・07	214
中村 貢	学園散歩 絹笠よし先生のお話	15	44	1976・06	621
木咲 弘	随想 こんぶ	3	38	1964・07	67
木咲 弘	学内消息 家政学科研究室だより	5	58	1966・07	183
木咲 弘	学内消息 学生部だより	7	53	1968・07	259
木咲 弘	論評 家政学部 of 現状と将来の展望 家政学研究科に望ま れるもの	14	17	1975・11	554
木咲 弘	学内消息 大学院家政学研究科だより	14	99	1975・11	585
木咲 弘	学内消息 大学院家政学研究科だより	15	67	1976・06	633
木咲 弘	学内消息 家政学科だより	20	99	1981・08	895
木咲 弘	学内消息 大学院家政学研究科だより	20	101	1981・08	896
木咲 弘	学内消息 家政学部だより	21	102	1982・08	945
木咲 弘	学内消息 大学院家政学研究科だより	21	104	1982・08	946
木咲 弘	学内消息 家政学部だより	24	98	1985・07	1084
木咲 弘	学内消息 大学院家政学研究科だより	24	99	1985・07	1085
木咲 弘	学内消息 家政学部だより	25	98	1986・07	1134
木咲 弘	学内消息 大学院家政学研究所だより	25	100	1986・07	1135
木咲 弘	大塚肇先生との出会い	27	68	1988・07	1232
木咲 弘	研究ノート クチナシ御飯	32	36	1993・07	1432
木咲 弘	退職にあたって 回想	33	59	1994・08	1486
岸部 公子	特集・女性と社会 ある行き方	21	16	1982・08	914
北村 千鶴子	随想 母の真似	8	36	1969・07	290
北村 博子	随想 富士登山にかけたもの	31	50	1992・07	1398
S. Kathleen KITAO	研究ノート Writing as a Social Activity	33	32	1994・08	1474
木津 祐子	研究ノート 守り継がれた分家の書	34	32	1995・08	1521

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
小林 章夫	ずいそう 不思議な時代	15	26	1976・06	610
小林 章夫	研究ノート ヘそ曲がりの自己弁護	18	34	1979・06	759
小林 章夫	海外だより ブリストルの印象	19	59	1980・07	812
小林 五十鈴	随想 「時報」のこと	13	31	1974・07	512
小林 五十鈴	特集・女子と教育 雑感	16	38	1977・07	656
小林 五十鈴	退職にあたって 草創のころのこと	33	69	1994・08	1491
小林 賢章	随想 ザリガニ釣り	30	45	1991・07	1360
小林 義武	随想 個性と責任	31	48	1992・07	1397
小林 義武	研究ノート 私の研究ノート	33	35	1994・08	1475
児玉 るり子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 初めてのアメリカーこころの出会い	20	29	1981・08	857
司会:小室 節子 出席:児玉 明子、他	特集・女子大学の就職戦線 座談会・就職活動を振り返って	32	8	1993・07	1429
児玉 実英	随想 シャーベット時代における大学の意義	1	42	1962・06	18
児玉 実英	同志社女子学生の今と昔	3	8	1964・07	64
司会:武 邦保 出席:児玉 実英、他	座談会 同志社女子大学の学生を語る	9	12	1970・07	327
児玉 実英	学内消息 大学問題委員会	10	72	1971・07	382
児玉 実英	追悼 瀧山徳三先生の学風	13	19	1974・07	503
児玉 実英	学内消息 図書館だより	13	48	1974・07	523
児玉 実英	学内消息 図書館だより	14	93	1975・11	580
児玉 実英	研究ノート エズラ・パウンドの研究	17	20	1978・07	706
児玉 実英	学内消息 学生部だより	17	70	1978・07	731
児玉 実英	ヒバード先生のこと	18	47	1979・06	765
児玉 実英	学内消息 学生部だより	18	65	1979・06	777
児玉 実英	ずいそう めがね	20	73	1981・08	883
児玉 実英	学内消息 大学院文学研究科だより	25	94	1986・07	1132
児玉 実英	学内消息 大学院文学研究科だより	26	122	1987・07	1183
児玉 実英	巻頭のことばーごあいさつにかえて	32	1	1993・07	1426
児玉 実英	巻頭のことば	33	1	1994・08	1469
児玉 実英	青春礼賛	34	1	1995・08	1515
小泉 円	随想 アマチュア・レスリングを経験して	34	52	1995・08	1530
小泉 利久	随想 地震余話	9	45	1970・07	334
小泉 利久	海外だより もう一つの選挙	17	44	1978・07	717
小泉 利久	国際交流 一九八三年度第四回海外夏期研修だより	23	29	1984・07	1018
小泉 利久	学内消息 学生部だより	23	62	1984・07	1029
小泉 利久	学内消息 学生部だより	24	79	1985・07	1076
小泉 利久	随想 物語作成	30	47	1991・07	1361

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
児島 明美	ずいそう Essay: モルト・エスプレッシーヴォの囁きより ”先生”と”生徒”の狭間で今— ドにかえるということ	19	69	1980・07	818
粉川 皓仲	新入会員のみなさまがたへ	30	5	1991・07	1348
小牧 良三	特集 旅 旅	13	14	1974・07	500
小室 節子	追悼 愛の塊の人	27	29	1988・07	1215
司会:小室 節子 出席:江崎 千恵、大石 さつき、加川 千可子、 行司 千絵、熊田 由美 子、児玉 明子、中市 志保、濱地 美加 近藤 功	特集・女子大学の就職戦線 座談会・就職活動を振り返って 父兄も連帯意識を持って	32	8	1993・07	1429
近藤 十郎	海外だより イェールでの学びから—在外研究近況報告	28	64	1989・07	1278
近藤 十郎	ずいそう 御所の細道	21	44	1982・08	925
近藤 十郎	定年を迎えられた先生 松原先生を送ることば	23	15	1984・07	1015
近藤 十郎	同志社女子大学リトリート—五年間の回想と展望	25	19	1986・07	1102
近藤 十郎					
司会:近藤 十郎 出席:三田 裕香、中 西 洋子、奥田 佳 子、大河内 美賀、城 内 聡子、山下 美穂 ／事務局:正木 明 近藤 泰平	特集・今、なぜ女子大学なのか—女子大学のなかから女子 大学を語る(座談会) 特集・就職 企業からの声 人材能力観について	30	11	1991・07	1350
小坂 賢一郎	サマーキャンプ	27	11	1988・07	1204
越賀 玲子	唐澤先生追悼の記 唐澤先生を偲ぶ	25	23	1986・07	1103
甲元 洋子	特集・女子と教育 同志社女子大学に学んで	21	33	1982・08	920
甲元 洋子	研究ノート キーツの夢の国	16	41	1977・07	658
甲元 洋子	ずいそう キツネの一族	23	34	1984・07	1019
甲元 洋子	海外だより スミスでの半年間	24	66	1985・07	1072
高坂 正堯	同志社とわたしの家族 妻を語る	25	45	1986・07	1111
小山 薫	海外だより ああ、プロヴィデンス！—ブラウン大学滞在記	14	63	1975・11	564
小山 薫	随想 「ご趣味は？」	29	55	1990・07	1322
小山 松次郎	随想 学問に志した頃	32	49	1993・07	1437
小山 松次郎	随想 学問に志した頃	3	39	1964・07	68
小山 松次郎	学内消息 教務課だより	5	46	1966・07	175
小山 松次郎	学内消息 教務課だより	6	46	1967・07	217
小山 松次郎	学内消息 教務部だより	7	52	1968・07	258
小山 松次郎	学内消息 大学院家政学研究科だより	8	67	1969・07	305
小山 松次郎	学内消息 大学院家政学研究科だより	12	60	1973・07	479
小山 松次郎	学内消息 家政学科だより	12	60	1973・07	480
小山 松次郎	論評 同志社女子大学と家政学	13	6	1974・07	495
小山 松次郎	学内消息 家政学部だより	13	55	1974・07	528

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
小山 松次郎	学内消息 大学院家政学研究科だより	13	56	1974・07	529
小山 松次郎	学内消息 研究所だより	15	60	1976・06	628
小山 松次郎	学内消息 研究所だより	16	84	1977・07	681
小山 松次郎	ずいそう 思いのままに	18	52	1979・06	767
小原 弘之	小山(松次郎)先生追悼の記 小山松次郎先生を偲ぶ	22	31	1983・08	971
吉岡 ますみ	小山(松次郎)先生追悼の記 小山先生を偲んで	22	33	1983・08	972
久保 貞子	随想 クラス会に出て	2	42	1963・06	42
久保 貞子	特集 ミス・デントン デントン先生とガールズ	11	13	1972・07	407
久保 貞子	ずいそう ジョギングのすすめ	17	59	1978・07	724
久保 貞子	学内消息 一般教育だより	20	101	1981・08	897
久保 貞子	定年を迎えられた先生 退職の記	21	36	1982・08	921
酒井 康	定年を迎えられた先生 久保(貞子)先生のこと	21	39	1982・08	922
久保 貞子	学内消息 一般教育だより	21	104	1982・08	947
久次米 哲子	随想 桜と飛行機	1	47	1962・06	19
久次米 哲子	随想 春休み	5	36	1966・07	166
久次米 哲子	特集 女子大学の将来 女子大学の将来を語る―主に家政学部に関して	12	12	1973・07	451
司会:市岡 奈々子 出席:熊 万由美、他	座談会 <雑談>一年目の田辺―新学園の創出を語る	26	38	1987・07	1156
司会:小室 節子 出席:熊田 由美子、他	特集・女子大学の就職戦線 座談会・就職活動を振り返って	32	8	1993・07	1429
熊村 敬子	学園の四季 神様の愛	17	63	1978・07	726
倉戸 ツギオ	随想 ここにも、そこにも、あそこにも……	33	39	1994・08	1477
呉山 平煥	ずいそう 「春の嵐」 “我が青春のプレイバック”	22	38	1983・08	974
黒田 慶子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 スタントンでの日常生活について	20	30	1981・08	858
黒田 吉弘	随想 たなべ、しあわせ、モトクロス	26	68	1987・07	1165
黒岩 義臣	研究ノート 僕の楽(がく)っ玉	28	36	1989・07	1266
黒澤 祝子	随想 旅日記	11	57	1972・07	423
黒澤 祝子	研究ノート 味の旅行	18	35	1979・06	760
日下部 裕子	随想 山登り雑感	5	37	1966・07	167
楠橋 開	研究ノート 叡山阿闍梨覚盛の周辺	26	54	1987・07	1158
教務部学務課	教育実習の実態について―実習校の問題を中心に	15	38	1976・06	618
司会:中村 信博 出席:京谷 朋子、他	特集 座談会・「共に生きる」―震災とボランティア	34	9	1995・08	1518

M

真喜屋 直美	随想 ワーキング・ママ奮闘記	30	41	1991・07	1358
司会:中村 信博 出席:真喜屋 直美、他	特集 座談会・「共に生きる」―震災とボランティア	34	9	1995・08	1518

M

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
司会:酒井 康 出席:真鍋 みよ子、他	座談会 女子大学と社会	10	12	1971・07	365
萬年 壽子	私たちの学園 私たちの勉強	6	43	1967・07	216
丸川 和子	特集・就職 卒業生の声 わたしの会社	27	27	1988・07	1213
丸田 昭三	ずいそう 峠からの撤退	19	64	1980・07	815
丸田 昭三	研究ノート 偶成・偶成和音	21	60	1982・08	932
丸田 昭三	思い出すこと	24	42	1985・07	1061
丸山 敬介	研究ノート 日本語教育で扱う「文化」の領域について	30	34	1991・07	1355
丸山 三恵子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 海外研修に参加してー食生活を中心に	20	45	1981・08	871
正木 明子	随想 ロシア・シルクロードへの行きつかない旅	26	73	1987・07	1168
司会:近藤 十郎 出席:(事務局)正木 明子	特集・今、なぜ女子大学なのかー女子大学のなかから女子大学を語る(座談会)	30	11	1991・07	1350
正岡 規子	ずいそう 四年間を振り返って	18	60	1979・06	773
増田 高男	随想 山日記から	12	37	1973・07	464
増田 高男	学内消息 総務部だより	25	82	1986・07	1127
増田 高男	学内消息 栄光会だより	25	102	1986・07	1137
増田 高男	学内消息 総務部だより	26	118	1987・07	1181
増田 高男	学内消息 栄光会だより	26	137	1987・07	1191
増田 高男	学内消息 総務部だより	27	103	1988・07	1245
増田 高男	学内消息 栄光会だより	27	124	1988・07	1255
馬杉 一重	ずいそう ある女の子の体験	24	64	1985・07	1071
馬杉 一重	追悼 松下君子先生をお偲びして	26	52	1987・07	1157
馬杉 一重	研究ノート 可変型高温恒湿室が設置されて	17	18	1978・07	705
松原 一郎	随想 四湖の老人	2	59	1963・06	50
松原 一郎	学内消息 一般教育だより	14	95	1975・11	581
松原 一郎	学内消息 一般教育だより	15	62	1976・06	629
松原 一郎	学内消息 図書館だより	21	96	1982・08	941
松原 一郎	学内消息 宗教部だより	22	93	1983・08	989
松原 一郎	定年を迎えられた先生 同志社時代での一齣	23	11	1984・07	1013
近藤 十郎	定年を迎えられた先生 松原(一郎)先生を送ることば	23	15	1984・07	1015
松原 一郎	学内消息 宗教部だより	23	73	1984・07	1032
松田 道 中島和子・訳	特集・女子と教育 松田道先生の二つの手紙	16	17	1977・07	652
松本 博	ずいそう 男の更年期	16	71	1977・07	676
松本 博	定年を迎えられた先生 退職に当って	22	47	1983・08	978
松山 雄吉	定年を迎えられた先生 松本(博)先生を送ることば	22	48	1983・08	979
松本 正博	桜満つ	32	4	1993・07	1427

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
井岡 妙、松村 英世、渋谷 ヒロ子	音楽学科頒啓会沿革	26	32	1987・07	1155
松村 延昭	随想 グラフと出会って思うこと	28	53	1989・07	1273
松村 延昭	海外だより 在外研究半分経過	30	55	1991・07	1365
松村 多四郎	ごあいさつー新入生栄光会総会にて	29	4	1990・07	1306
松岡 令子	特集 旅 旅と人生と	13	17	1974・07	502
松下 紀美子	随想 藤と萩一心に残る人々ー	6	31	1967・07	207
松下 紀美子	特集 女子大学の将来 同志社女子大学教育の将来への願い	12	10	1973・07	450
松下 紀美子	ずいそう 野の花	17	54	1978・07	720
松下 紀美子	家政東館(KT館)の思い出	18	30	1979・06	757
馬杉 一重	追悼 松下紀美子先生をお偲びして	26	52	1987・07	1157
松山 義則	同志社の国際主義	26	6	1987・07	1149
松山 義則	メデュース号の筏	27	6	1988・07	1201
松山 義則	校庭のクローバー	28	6	1989・07	1264
松山 義則	ペスタロッチ館にて	29	6	1990・07	1307
松山 義則	山本覚馬先生のこと	30	7	1991・07	1349
松山 義則	一乗寺下り松のあたりにて	31	6	1992・07	1388
松山 義則	友人との再会	32	6	1993・07	1428
松山 義則	老先生の生涯を通して	33	6	1994・08	1471
松山 義則	美しい環境ー女子大学のキャンパス	34	6	1995・08	1517
松山 雄吉	随想 随想	13	30	1974・07	511
松山 雄吉	定年を迎えられた先生 松本先生を送ることば	22	48	1983・08	979
松山 雄吉	京都への途は遠かった	25	48	1986・07	1112
阿部 登茂子	松山(雄吉)先生をお送りする言葉	25	51	1986・07	1113
道端 進	会員のご支援を	25	2	1986・07	1097
三本 尚代	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 とっておきの34日間	20	47	1981・08	872
司会:酒井 康 出席:水口 文子、他	座談会 女子大学と社会	10	12	1971・07	365
三根 浩	随想 パソコン通信を体験する	27	47	1988・07	1223
司会:近藤 十郎 出席:三田 裕香、他	特集・今、なぜ女子大学なのかー女子大学のなかから女子大学を語る(座談会)	30	11	1991・07	1350
宮川 成雄	新任一年をふりかえって	26	81	1987・07	1171
宮川 成雄	海外だより 異文化への感受性ー160分の1の文化としての日本文化	29	57	1990・07	1323
三宅 秀子	随想 特殊学級の子どもとともに	10	46	1971・07	370
都田 悦子	学園の四季 キリスト教と私	17	67	1978・07	729
宮本 義信	随想 わが家のコミュニケーション・パターンについてーすりへりと消耗の論理	31	58	1992・07	1402
宮下 千代	随想 ビニライト手袋	1	26	1962・06	10

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
宮下 千代	随想 寮生雑感	3	42	1964・07	70
宮下 千代	随想 巣立ち行く寮生達	5	38	1966・07	168
宮下 千代	なくなった寮のものがたり	6	24	1967・07	203
宮下 千代	学内消息 学寮だより	10	81	1971・07	389
宮下 千代	なくなった寮の物語 「聖洲寮」について	16	58	1977・07	666
宮下 隆夫	随想 Kさんへの手紙	2	46	1963・06	44
宮下 隆夫	学内消息 田辺校地利用準備室だより	22	109	1983・08	998
宮下 隆夫	学内消息 田辺校地利用準備室だより	23	88	1984・07	1041
宮下 隆夫	田辺校地利用計画及びキャンパスの概要(資料面から)	24	71	1985・07	1074
宮下 隆夫	学内消息 田辺校地利用準備室だより	24	101	1985・07	1087
宮下 隆夫	田辺キャンパス開学にあたって	25	16	1986・07	1101
宮下 隆夫	山本総務部長をお送りする言葉	25	59	1986・07	1118
宮下 隆夫	学内消息 田辺事務室だより	26	134	1987・07	1190
宮下 隆夫	学内消息 田辺事務室だより	27	120	1988・07	1254
宮下 隆夫	随想 タイミング(ある冬の夜のこと)	32	53	1993・07	1439
宮澤 正典	研究ノート 宣伝・標語—政治と大衆を繋ぐもの	17	23	1978・07	707
司会:赤塚 忠一 出席:宮澤 正典、他	座談会 今年の就職を振り返って	24	4	1985・07	1053
宮澤 正典	ずいそう 小問題だが	23	56	1984・07	1026
宮澤 正典	研究ノート 時代の波のなかの小舟のように—雑学への道	32	41	1993・07	1434
宮澤 正典	学内消息 同志社女子大学史料室の開設	34	73	1995・08	1540
水谷 紀子	随想 こんな歳時記	27	56	1988・07	1226
望月裕美、宇田眞子、阪田美枝	図書館について 新図書館ができるまで	17	8	1978・07	702
望月 満子	随想 忘れられたるもの	3	41	1964・07	69
望月 満子	学内消息 英文学科だより	5	54	1966・07	181
望月 満子	論評 女子大学と文学教育	12	6	1973・07	449
望月 満子	学内消息 大学院文学研究科だより	12	55	1973・07	476
望月 満子	学内消息 大学院文学研究科だより	13	54	1974・07	527
望月 満子	論評 女性と学問・教育について	16	6	1977・07	649
望月 満子	ウイン先生のこと	17	34	1978・07	711
司会:秦 芳江 出席者:望月 満子、他	座談会 同志社女子大学家政学部の過去・現在・未来を語る	18	6	1979・06	753
望月 満子	滝山先生をお送りする言葉	19	36	1980・07	804
望月 満子	追悼・片桐哲先生 故片桐哲先生を悼む	22	18	1983・08	965
望月 満子	学内消息 大学院文学研究科だより	22	102	1983・08	993
望月 満子	定年を迎えられた先生 定年退職に際して	23	8	1984・07	1012
恒藤 節子	定年を迎えられた先生 望月(満子)先生をお送りすることば	23	14	1984・07	1014
門田 誠一	随想 毒に養われた日本人	30	51	1991・07	1363

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
森 博	同志社とわたしの家族 成功した自由放任主義ー娘を語る	14	66	1975・11	566
森 淑子	随想 お弁当	11	55	1972・07	421
森 淑子	海外だより 中国旅行の日記から	19	55	1980・07	811
森 淑子	特集・女性と社会 わたしの願いー男女の産み分けについて	21	23	1982・08	916
森 淑子	学内消息 学生部だより	25	75	1986・07	1126
森 淑子	学内消息 学生部だより	26	101	1987・07	1177
森 淑子	学内消息 学生部だより	27	88	1988・07	1241
森 淑子	随想 バスケットボールと私	29	43	1990・07	1316
司会:秦 芳江 出席:森 淑子、他	座談会 同志社女子大学家政学部の過去・現在・未来を語る	18	6	1979・06	753
森 陽一	特集・就職 企業からの声 コンピュータ業界が求める理想の人材とは	27	18	1988・07	1207
司会:赤塚 忠一 出席:森川 潤子、他	座談会 今年の就職を振り返って	24	4	1985・07	1053
森本 多美子 画と文	口絵 喋べる	4		1965・07	109
森下 直明	随想 ヒゲ	10	48	1971・07	371
森下 直明	海外だより アーモストでの日記より	17	51	1978・07	719
森田 明春	ずいそう チャンコと朝稽古	15	27	1976・06	611
森田 明春	海外だより 日記抄……	18	40	1979・06	762
森田 明春	一九八一年度第二回海外夏期研修報告	21	68	1982・08	935
森田 明春	学内消息 英文学科だより	24	94	1985・07	1081
森田 明春	随想 奇病連盟	29	47	1990・07	1318
森田 潤司	ずいそう あるモチつきの話	22	39	1983・08	975
森田 和子	随想 海と私	11	56	1972・07	422
森田 弥生	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 アメリカ雑感	20	16	1981・08	849
司会:中村 信博 出席:盛谷 直子、他	特集 座談会・「共に生きる」ー震災とボランティア	34	9	1995・08	1518
森山 由紀子	研究ノート 信長の「ありがとう」	31	38	1992・07	1393
司会:中村 信博 出席:森山 由紀子、他	特集 座談会・「共に生きる」ー震災とボランティア	34	9	1995・08	1518
H. BEACH 村上 八千代・訳	ある生涯 ミス・ビーチの手紙	4	6	1965・07	111
村木 新次郎	海外だより ドイツ便り	33	52	1994・08	1483
村松 浩志	随想 怖い話	31	56	1992・07	1401
村尾 勉	「臨教審答申について」の討論会を聞いて	27	64	1988・07	1230
村田 享子	随想 親馬鹿披露	8	38	1969・07	291
N					
永井 秀夫	随想 随想	7	38	1968・07	252
永野 薫	学園の四季 真夏の夜の夢ーシェイクスピアイブに参加して	17	66	1978・07	728
長崎 寿栄	研究ノート D-アスパラギン酸酸化酵素	27	34	1988・07	1217
N					

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
永山 ゆり	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 海外研修での思い出	20	42	1981・08	868
中 皓	随想 すずろごと	2	30	1963・06	36
中 皓	随想 とわずがたり	5	39	1966・07	169
中 皓	学内消息 一般教育だより	10	73	1971・07	383
中 皓	学内消息 一般教育だより	11	71	1972・07	430
中 皓	学内消息 学生部だより	15	51	1976・06	624
中 皓	田中順二先生へ	16	56	1977・07	665
中 皓	学内消息 学生部だより	16	76	1977・07	678
中 皓	ずいそう ちょっと失敗	18	53	1979・06	768
中 皓	研究ノート 鉄幹与謝野寛の「身の卑ければ」をめぐって	21	55	1982・08	930
中 皓	同志社女子大学日本語日本文学会について	26	30	1987・07	1153
中 皓	えにこそあるらめー惜別の辞	27	70	1988・07	1233
稲垣 定弘	中(皓)先生ー私とのかかわりで	27	73	1988・07	1234
中川 勝正	随想 随想	5	40	1966・07	170
中川 成美	研究ノート 日本近代文学と1930年代	27	42	1988・07	1220
中井 清允	随想 有隣	4	20	1965・07	116
中井 清允	表紙写真 井戸とスモーク・ツリー	7	巻頭	1968・07	233
中井 清允	スモーク・ツリーと井戸 写真と解説	7	91	1968・07	273
中井 清允	皇后陛下行啓記念碑	8	33	1969・07	288
中井 清允	口絵 「溫柔」(小崎弘道筆)	9	口絵	1970・07	319
中井 清允	口絵 家庭管理実習ハウス	10	口絵	1971・07	358
中井 清允	本学における就職状況	10	41	1971・07	367
中井 清允	大学における下宿学生生活費の実態について	11	44	1972・07	413
中井 清允	表紙説明 スモークツリー	15	巻頭	1976・06	594
中井 清允	定退多謝	27	84	1988・07	1239
司会:小室 節子 出席:中市 志保、他	特集・女子大学の就職戦線 座談会・就職活動を振り返って	32	8	1993・07	1429
中島 次郎	大学と家庭との連携	19	6	1980・07	799
中島 和子	Blaisdell-Bosbyshell Scholarship によるクレアモント留学	7	32	1968・07	248
中島 和子	吉川先生のこと	14	80	1975・11	573
松田 道 中島 和子・訳	特集・女子と教育 松田道先生の二つの手紙	16	17	1977・07	652
中島 和子	ずいそう ルミちゃんのこと	21	41	1982・08	923
中島 和子	同志社女子大学英文学会	26	14	1987・07	1151
中嶋 静恵	なくなった寮のものがたりー同志社女子大学発足以後	5	25	1966・07	159
中嶋 静恵	学内消息 学寮だより	6	61	1967・07	227
中村 滋延	研究ノート シアターピース(音楽+?)	23	37	1984・07	1020
中村 滋延	同志社女子大学を退職するにあたって	25	56	1986・07	1116

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
中村 滋延	随想 想起または鎮魂の賦	26	64	1987・07	1163
中村 潤一	ずいそう 円空仏	15	28	1976・06	612
中村 恵	随想 タバコ?!	8	49	1969・07	297
中村 恵	ずいそう 車内放送	25	71	1986・07	1124
中村 貢	随想 結婚式あれこれ	2	36	1963・06	39
中村 貢	感謝とお願い 募金実行委員長	2	76	1963・06	56
中村 貢	英国と言うところ	3	31	1964・07	66
中村 貢	学内消息 喜びに溢れて	3	54	1964・07	77
中村 貢	学内消息 父兄各位へお礼のことば 募金実行委員長	4	30	1965・07	123
中村 貢	クラブ先生のこと	5	17	1966・07	153
中村 貢	特集ミス・デントン メリー・フロレンス・デントン先生略年譜	11	17	1972・07	410
中村 貢	学園散歩 デントン先生婚約の謎	14	72	1975・11	569
中村 貢	学園散歩 絹笠よし先生のお話	15	44	1976・06	621
中村 貢	学園散歩 女子部創立百周年に憶う	16	50	1977・07	663
中村 信博	海外だより ミュンヘンー街・教会・大学	30	53	1991・07	1364
司会:中村 信博 出席:森山 由紀子、真 喜屋 直美、京谷 朋 子、菊池 良美、竹間 優美子、盛谷 直子	特集 座談会・「共に生きる」ー震災とボランティア	34	9	1995・08	1518
中村 知子	追悼 故中瀬古和先生を偲んで	13	22	1974・07	506
中村 利男	ずいそう 随想	15	30	1976・06	613
中村 利男	海外だより ヨーロッパ点描	28	66	1989・07	1279
中根 薫	随想 きょうこのごろ	1	37	1962・06	16
司会:近藤 十郎 出席:中西 洋子、他	特集・今、なぜ女子大学なのかー女子大学のなかから女子 大学を語る(座談会)	30	11	1991・07	1350
中野 隆文	特集・就職 企業からの声 我が会社と女性の立場	27	20	1988・07	1208
仲佐 輝子	研究ノート DOPA decarboxylase	24	52	1985・07	1066
中瀬古 和	クラブ先生と私	5	15	1966・07	151
中瀬古 和	学内消息 音楽学科だより	5	60	1966・07	185
中瀬古 和	学内消息 音楽学科だより	6	53	1967・07	222
中瀬古 和	学内消息 音楽学科だより	7	69	1968・07	268
中瀬古 和	随想 アンサンブルのこころ	8	46	1969・07	295
中瀬古 和	学内消息 研究所だより	11	69	1972・07	429
中瀬古 和	特集 女子大学の将来 同志社女子大の将来を語る	12	24	1973・07	456
有賀 のゆり	追悼 故中瀬古和先生について	13	21	1974・07	505
中村 知子	追悼 故中瀬古和先生を偲んで	13	22	1974・07	506
中谷 加寿子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 私にとって の海外研修	20	48	1981・08	873
秦 芳江	研究ノート 大学で近代体育を学んだ最初の日本人、新島 (襄)先生	22	59	1983・08	982

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
仁木 久美子	随想 節分祭雑感	12	34	1973・07	462
西村 公雄	随想 祖父への思い	34	44	1995・08	1526
司会:赤塚 忠一 出席:西野 佳子、他	座談会 今年の就職を振り返って	24	4	1985・07	1053
新田 義治	随想 忘れもの?	9	49	1970・07	336
新田 義治	学内消息 学寮だより	11	78	1972・07	436
新田 義治	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 MBCの好意!	20	12	1981・08	847
新田 義治	学内消息 父兄会だより	20	103	1981・08	898
新田 義治	学内消息 父兄会だより	21	105	1982・08	948
新田 義治	学内消息 父兄会だより	22	110	1983・08	999
新田 義治	学内消息 栄光会だより	23	89	1984・07	1042
小室 節子	追悼 愛の塊の人(新田義治)	27	29	1988・07	1215
信原 修	学内消息 栄光会だより	24	102	1985・07	1088
信原 修	随想 ある便り	7	42	1968・07	255
信原 修	随想 ああ 君子国	12	33	1973・07	461
信原 修	特集 図書館と私 図書館雑感	15	17	1976・06	606
信原 修	海外だより 西海岸の町から	20	66	1981・08	881
信原 修	国際交流 一九八二年度第三回海外夏期研修 悲喜交々の海外研修―想い出すままに	22	67	1983・08	984
信原 修	学内消息 総合文化研究所だより	27	98	1988・07	1244
野崎 康明	随想 やってみたいなあ	13	27	1974・07	509
野崎 康明	研究ノート 幼児の運動と心拍数	18	38	1979・06	761
野崎 康明	海外だより スプリングフィールド大学にて	20	69	1981・08	882
野崎 康明	一九八四年度第五回海外夏期研修だより 長くて短く過ぎ去った夏	24	55	1985・07	1067
野崎 康明	随想 阪神大震災で教えられたこと	34	46	1995・08	1527
沼田 善子	随想 「耳の会」のこと	29	41	1990・07	1315

O

O

隴谷 寿	ずいそう 王朝の桜	25	62	1986・07	1120
越智 文雄	欧米の諸大学を訪ねて	1	1	1962・06	4
越智 文雄	学長就任二年を顧みて	2	1	1963・06	26
越智 文雄	私学を育てるもの	3	2	1964・07	62
越智 文雄	同志社創立九十周年を迎えて	4	2	1965・07	110
越智 文雄	巻頭言	5	2	1966・07	145
越智 文雄	巻頭言	6	2	1967・07	197
越智 文雄	巻頭言 生命への凝視	7	2	1968・07	242
越智 文雄	巻頭言 愛はいらだたない	8	2	1969・07	285

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
越智 文雄	巻頭言 天地創造主のイメージ	9	2	1970・07	325
越智 文雄	巻頭言 創立者における寒梅のイメージ	10	2	1971・07	363
越智 文雄	巻頭言 なんぢ尚ほ一つを欠く(マルコによる福音書第十章二十一節)	11	2	1972・07	404
越智 文雄	巻頭言 「忘却」と「想起」	12	2	1973・07	448
越智 文雄	巻頭言 知識と品行―新島先生 of 教育理想	13	2	1974・07	494
司会:有賀 のゆり 出席:越智 文雄、他	座談会 同志社よもやま話―草創期の先生がたを囲んで	14	29	1975・11	558
瀧山 季乃	越智文雄 前学長に感謝を	14	76	1975・11	571
越智 文雄	定年を迎えられた先生 定年を迎えて思うことども	19	28	1980・07	801
石田 章	越智(文雄) 先生のこと	19	35	1980・07	803
越智 文雄	追悼・片桐哲先生 今は亡き片桐哲先生を偲ぶ	22	8	1983・08	962
落合 恵美子	研究ノート 現代若者の「保守性」とは	27	36	1988・07	1218
司会:酒井 康 出席:小倉 恵子、他	座談会 女子大学と社会	10	12	1971・07	365
小田 幸信	随想 ふるさとのこと	6	33	1967・07	209
小田 幸信	学内消息 英文学科だより	10	76	1971・07	385
小田 幸信	学内消息 英文学科だより	11	73	1972・07	432
小田 幸信	特集 女子大学の将来 女子大学の将来を語る	12	15	1973・07	452
小田 幸信	学内消息 英文学科だより	12	57	1973・07	477
小田 幸信	学内消息 英文学科だより	13	53	1974・07	526
小田 幸信	学内消息 大学院文学研究科だより	16	90	1977・07	685
小田 幸信	学内消息 大学院文学研究科だより	17	84	1978・07	738
小田 幸信	学内消息 学生部だより	21	79	1982・08	937
小田 幸信	学内消息 学生部だより	22	81	1983・08	987
小田 幸信	海外だより ケンブリッジ便り	24	59	1985・07	1069
小田 幸信	短期大学開学にあたって	25	8	1986・07	1099
小田 幸信	学内消息 短期大学部だより	26	133	1987・07	1188
小田 幸信	学内消息 短期大学部だより	27	115	1988・07	1252
小田 幸信	随想 戊(いぬ)年に思うこと	33	42	1994・08	1478
小田 幸信	退職にあたって 同志社女子大学での36年間を振り返って	34	65	1995・08	1536
荻野 恕三郎	随想 一つの別れ―海外の思い出	2	55	1963・06	48
荻野 恕三郎	随想 間に合わない大学	12	40	1973・07	466
荻野 恕三郎	学内消息 一般教育だより	17	81	1978・07	736
荻野 恕三郎	学内消息 一般教育だより	18	82	1979・06	787
荻野 恕三郎	学内消息 一般教育だより	19	95	1980・07	831
荻野 恕三郎	研究ノート 『よちよち歩き』	20	62	1981・08	879
荻野 恕三郎	退職にあたって 所感	33	61	1994・08	1487

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
小倉 恭子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 私の感じたアメリカ研修	20	31	1981・08	859
小椋 典子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 研修をふりかえり	20	32	1981・08	860
小原 弘之	随想 野球	9	47	1970・07	335
小原 弘之	研究ノート 脇役の魅力	13	38	1974・07	516
小原 弘之	研究ノート マツタケ山のモンタージュ写真	17	16	1978・07	704
小原 弘之	学内消息 総合文化研究所だより	21	92	1982・08	940
小原 弘之	小山先生追悼の記 小山松次郎先生を偲ぶ	22	31	1983・08	971
小原 弘之	学内消息 総合文化研究所だより	22	96	1983・08	990
小原 弘之	学内消息 総合文化研究所だより	23	75	1984・07	1033
小原 弘之	海外だより アメリカ雑感	25	42	1986・07	1110
小原 弘之	学内消息 教務部だより	26	99	1987・07	1176
種田 佐津喜	学内消息 学寮だより	8	76	1969・07	310
河村 圭子／種田 佐津喜	学内消息 寮だより	5	52	1966・07	180
種田 佐津喜	なくなった寮の物語	9	31	1970・07	328
岡部 輝美	随想 ちかごろ思うこと	10	45	1971・07	369
岡本 ひとみ	特集・女子大学の就職戦線 社会人一年生からのアドバイス「自分らしい就職活動」	32	30	1993・07	1430
岡本 昌夫	随想 ずいそう	8	39	1969・07	292
岡本 昌夫	学内消息 大学院文学研究科だより	8	71	1969・07	307
岡本 昌夫	論評 ユートピアへの志向	9	6	1970・07	326
岡本 昌夫	学内消息 大学院文学研究科だより	9	72	1970・07	347
宇喜田 敬介	定年を迎えられた先生 岡本昌夫先生のこと	15	42	1976・06	619
岡本 良男	ご父兄の力強い支えを	20	6	1981・08	843
岡野 久二	随想 熊野紀行	3	45	1964・07	72
岡野 久二	学内消息 英文学科だより	6	52	1967・07	221
岡野 久二	学内消息 英文学科だより	7	65	1968・07	266
岡野 久二	学内消息 教務部だより	8	54	1969・07	299
岡野 久二	カリキュラムアンケート結果について	9	35	1970・07	329
岡野 久二	学内消息 教務部だより	9	52	1970・07	338
岡野 久二	学内消息 教務部だより	10	60	1971・07	376
岡野 久二	カリキュラムの改正について	11	41	1972・07	412
岡野 久二	学内消息 教務部だより	11	59	1972・07	424
岡野 久二	論評 大学院文学研究科英文学専攻博士課程新設について	14	5	1975・11	550
岡野 久二	学内消息 大学院文学研究科だより	14	95	1975・11	583
岡野 久二	学内消息 大学院文学研究科だより	15	63	1976・06	630
岡野 久二	巻頭言 歓迎の辞	17	2	1978・07	700

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
岡野 久二	巻頭言 知性と教養の練磨を	18	2	1979・06	752
岡野 久二	巻頭言 学問と福音の真理を	19	2	1980・07	798
岡野 久二	巻頭言 私学同志社で学ぶ意義	20	2	1981・08	842
岡野 久二	巻頭言 女性としての自覚を	21	2	1982・08	909
岡野 久二	巻頭言 知的精神的強さを	22	2	1983・08	960
岡野 久二	巻頭言 もう一つの真理	23	2	1984・07	1010
岡野 久二	心の教育	24	1	1985・07	1051
岡野 久二	新しい種	25	1	1986・07	1096
岡野 久二	退職にあたって 回想	31	70	1992・07	1407
司会:酒井 康 出席:岡野 久二、他	座談会 同志社女子大学の教育と研究	8	10	1969・07	287
沖中 靖	随想 釣	8	43	1969・07	294
沖中 靖	特集 旅 旅もまた魚とともに	13	8	1974・07	496
沖中 靖	研究ノート 葉酸欠乏製貧血	19	46	1980・07	808
沖中 靖	学内消息 教務部だより	21	76	1982・08	936
沖中 靖	学内消息 教務部だより	22	77	1983・08	986
沖中 靖	海外だより Berkeleyからの手紙	23	47	1984・07	1022
沖中 靖	学内消息 家政学部だより	26	129	1987・07	1185
沖中 靖	学内消息 大学院家政学研究科だより	26	131	1987・07	1186
沖中 靖	学内消息 家政学部だより	27	110	1988・07	1249
沖中 靖	学内消息 大学院家政学研究科だより	27	112	1988・07	1250
奥田 武彦 画と文	口絵 裸のリサイタル	5		1966・07	144
司会:近藤 十郎 出席:奥田 佳子、他	特集・今、なぜ女子大学なのかー女子大学のなかから女子大学を語る(座談会)	30	11	1991・07	1350
尾見 八重子	随想 楽真館	4	24	1965・07	119
尾見 八重子	同志社と私	17	38	1978・07	713
有賀 のゆり	感謝をこめてー尾見(八重子)先生を送る	17	40	1978・07	714
尾西 玲子	随想 東館の二階にて	2	34	1963・06	38
小野寺 幸之進	随想 カシワの木とトチの木	4	17	1965・07	114
大場 啓蔵	随想 A Stranger が求める三つのDー新任としてその随想を	2	62	1963・06	52
小野 哲	同志社とわたしの家族 女紅場のような家庭	14	67	1975・11	567
小野 哲	研究ノート 英国中世の叙情詩と音楽	16	61	1977・07	668
小野 哲	学内消息 研究所だより	17	78	1978・07	734
小野 哲	学内消息 英文学科だより	18	78	1979・06	782
小野 哲	学内消息 英文学科だより	19	90	1980・07	826
小野 哲	ずいそう 拝啓、ギルバート・ホワイ特様	23	50	1984・07	1023
大橋 寿美子	随想 「眠りの森のお姫様」	9	43	1970・07	333
大橋 寿美子	特集 図書館と私 利用と保存の綱引きの中で	15	15	1976・06	605

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
大橋 寿美子	ずいそう「あゝ、常識……」	19	67	1980・07	817
大橋 寿美子	学内消息 総合文化研究所だより	24	89	1985・07	1079
大橋 寿美子	研究ノート 現代小説の現実と非現実	25	32	1986・07	1104
大橋 寿美子	学内消息 総合文化研究所だより	25	86	1986・07	1129
大橋 寿美子	同志社女子大学総合文化研究所ーその過去と現在と未来	26	9	1987・07	1150
大橋 寿美子	学内消息 総合文化研究所だより	26	115	1987・07	1180
司会:小室 節子 出席:大石 さつき、他	特集・女子大学の就職戦線 座談会・就職活動を振り返って	32	8	1993・07	1429
司会:近藤 十郎 出席:大河内 美賀、他	特集・今、なぜ女子大学なのかー女子大学のなかから女子大学を語る(座談会)	30	11	1991・07	1350
大倉 恵太郎	学内消息 庶務課だより	5	49	1966・07	177
大倉 恵太郎	学内消息 庶務課だより	6	49	1967・07	219
大倉 恵太郎	学内消息 庶務課だより	7	55	1968・07	260
大倉 恵太郎	学内消息 総務部だより	8	55	1969・07	300
大倉 恵太郎	学内消息 父兄会だより	8	78	1969・07	311
大倉 恵太郎	学内消息 総務部だより	9	55	1970・07	340
大倉 恵太郎	学内消息 父兄会だより	9	77	1970・07	350
大倉 恵太郎	学内消息 総務部だより	10	64	1971・07	378
大倉 恵太郎	学内消息 父兄会だより	10	83	1971・07	390
大倉 恵太郎	随想 大学を去って	12	30	1973・07	459
大西 マサエ	随想 三十年ぶり	2	25	1963・06	33
大西 マサエ	クラブ先生と私	5	19	1966・07	155
大西 マサエ	随想 不思議な縁	12	29	1973・07	458
大島 中正	研究ノート 漢字仮名並列表記形式と語の形態上の有縁性について	29	32	1990・07	1311
大島 中正	随想 わたしと鏡	31	54	1992・07	1400
大田 憲子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 研修旅行を終えて	20	49	1981・08	874
大塚 愛子	随想 東京オリンピックに思う	3	44	1964・07	71
大塚 肇	論評 宇宙時代と科学教育	6	6	1967・07	198
大塚 肇	学内消息 研究所だより	7	60	1968・07	263
大塚 肇	学内消息 研究所だより	8	63	1969・07	303
大塚 肇	学内消息 学生部だより	9	53	1970・07	339
大塚 肇	学内消息 学生部だより	10	62	1971・07	377
大塚 肇	学内消息 学生部だより	11	61	1972・07	425
大塚 肇	論評 家政学部 of 現状と将来の展望 家政学部 of 教育課程-カリキュラム of 改正-をめぐって	14	15	1975・11	553
大塚 肇	追悼 故井上哲夫先生を偲んで	14	81	1975・11	574
大塚 肇	学内消息 家政学部だより	14	97	1975・11	584
大塚 肇	学内消息 家政学部だより	15	67	1976・06	634

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
司会:秦 芳江 出席:大塚 肇、他	座談会 同志社女子大学家政学部の過去・現在・未来を語る	18	6	1979・06	753
大塚 肇	唐澤先生追悼の記 在りし日の唐澤先生を偲ぶ	21	31	1982・08	919
大塚 肇	学内消息 図書館だより	22	99	1983・08	991
大塚 肇	在職三十八年を回顧して	27	66	1988・07	1231
木咲 弘	大塚肇先生との出会い	27	68	1988・07	1232
大塚 節治	口絵 書 愛は長久よりも・・・	6		1967・07	190
大塚 節治	論評 同志社建学の精神	10	6	1971・07	364
鴛淵 邵子	随想 小さな思い出	1	22	1962・06	8
鴛淵 邵子	随想 バイオリンの話	7	40	1968・07	253
鴛淵 邵子	学内消息 音楽学科だより	8	73	1969・07	308
鴛淵 邵子	学内消息 音楽学科だより	9	73	1970・07	348
鴛淵 邵子	学内消息 音楽学科だより	10	77	1971・07	386
鴛淵 邵子	論評 大学における音楽教育	11	6	1972・07	405
鴛淵 邵子	学内消息 音楽学科だより	11	75	1972・07	433
鴛淵 邵子	特集 旅 旅のスケッチ	13	10	1974・07	497
鴛淵 邵子	論評 音楽学科・誕生とその後の経過	14	7	1975・11	551
鴛淵 邵子	追悼 クラップ先生を偲んで	16	60	1977・07	667
鴛淵 邵子	聞き書き クラップ先生と私	17	28	1978・07	710
鴛淵 邵子	学内消息 学生部だより	19	76	1980・07	821
鴛淵 邵子	学内消息 学生部だより	20	81	1981・08	887
鴛淵 邵子	特集・女性と社会 感想－私の場合	21	20	1982・08	915
鴛淵 邵子	随想 ヴァイオリンと共に	30	38	1991・07	1357
鴛淵 邵子	退職にあたって 同志社と私	33	63	1994・08	1488
司会:秦 芳江 出席:鴛淵 邵子、他	座談会 同志社女子大学家政学部の過去・現在・未来を語る	18	6	1979・06	753
司会:酒井 康 出席:鴛淵 邵子、他	座談会 同志社女子大学の教育と研究	8	10	1969・07	287
鴛淵 紹子	随想 デントン先生とパイプオルガン	2	23	1963・06	32
鴛淵 紹子	随想 リューベック通22番地	10	54	1971・07	374
鴛淵 紹子	学内消息 音楽学科だより	12	59	1973・07	478
鴛淵 紹子	学内消息 音楽学科だより	13	57	1974・07	530
鴛淵 紹子	学内消息 音楽学科だより	14	100	1975・11	586
鴛淵 紹子	特集 図書館と私 図書館について思うこと	15	14	1976・06	604
鴛淵 紹子	二代目のパイプオルガン	20	51	1981・08	875
鴛淵 紹子	研究ノート メンデルスゾーン再発見－オルガンソナタについて	29	28	1990・07	1309
鴛淵 紹子	海外だより アヴィニョン便り	33	54	1994・08	1484
花谷 明子	追悼 尾崎春美さんを偲んで	24	46	1985・07	1063

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
尾崎 寔	随想 随想	4	26	1965・07	121
尾崎 寔	研究ノート 英米演劇における誓言の研究	13	38	1974・07	517
尾崎 寔	シェイクスピア・イヴ25年の覚え書	14	23	1975・11	557
尾崎 寔	海外だより イギリス暮らし	19	53	1980・07	810
尾崎 寔	学内消息 英文学科だより	20	96	1981・08	892
尾崎 寔	シェイクスピア・プロダクション東京公演	21	64	1982・08	934
尾崎 寔	学内消息 英文学科だより	21	97	1982・08	942
尾崎 寔	メアリー・ボールドウイン・カレッジと同志社女子大学、交換教授プログラムについて	22	73	1983・08	985
尾崎 寔	国際交流 同志社女子大学における米国学生夏期研修プログラム	23	18	1984・07	1016
尾崎 寔	追悼 植田将裕先生	25	40	1986・07	1109
尾崎 寔	海外だより イギリスの大学改革	32	57	1993・07	1441
尾崎 寔	学内消息 1994年度シェイクスピア・プロダクション福岡公演について	34	71	1995・08	1539
小関 幸子	随想 思い出	3	49	1964・07	74
小関 幸子	ずいそう 雪と桜	16	69	1977・07	674

R

R

William F. REIS	Internationalization and the Gift of Pizza	26	93	1987・07	1174
-----------------	--	----	----	---------	------

S

S

鯖田 豊之	随想 早婚と晩婚の意味	6	34	1967・07	210
貞方 敏郎	随想 イエスとノー	6	35	1967・07	211
佐伯 林規江	随想 第一期アメリカ紀行	33	44	1994・08	1479
佐伯 林規江	海外だより 第二期アメリカ記ーアメリカ大陸横断の列車の中から	34	59	1995・08	1533
斎藤 宏光	海外だより the Fourth of Jily	32	61	1993・07	1443
佐治 圭三	中国の大学生	26	96	1987・07	1175
佐治 圭三	「一国の良心」を胸に	27	77	1988・07	1235
酒井 康	随想 ぼくの家	1	31	1962・06	13
酒井 康	同志社女子大学とリベラル・アーツー第一回シンポジウムから	2	9	1963・06	28
酒井 康	大学における学問と教育	5	20	1966・07	156
酒井 康	学内消息 一般教育研究室だより	5	61	1966・07	186
酒井 康	同志社女子大生の宗教意識ー昨年の調査結果から	7	22	1968・07	247
酒井 康	学内消息 宗教室だより	7	59	1968・07	262
司会:酒井 康 出席:岡野 久二、 鴛淵 邵子、杉瀬 祐、林 淳一	座談会 同志社女子大学の教育と研究	8	10	1969・07	287
酒井 康	学内消息 研究所だより	9	61	1970・07	343

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
司会:酒井 康 出席:秋野 左多子、 小倉 恵子、真鍋 み よ子、酒詰 道子、水 口 文子、進士 和恵	座談会 女子大学と社会	10	12	1971・07	365
酒井 康	学内消息 研究所だより	10	70	1971・07	381
酒井 康	随想 アメリカの大学で感じたこと	13	34	1974・07	514
酒井 康	巻頭言 同志社における女子大学教育の使命	14	1	1975・11	549
酒井 康	巻頭言 人間解放の課題	15	1	1976・06	599
酒井 康	巻頭言 自己脱出	16	2	1977・07	648
酒井 康	定年を迎えられた先生 久保先生のこと	21	39	1982・08	922
酒井 康	追悼・片桐哲先生 片桐先生を偲ぶ	22	26	1983・08	968
酒井 康	新しい道に	25	53	1986・07	1114
深田 尚彦	酒井康先生を送る	25	54	1986・07	1115
坂本 清音	ずいそう 最近ちょっぴり慌てたこと	16	70	1977・07	675
坂本 清音	研究ノート Her Boweles yearned over <i>Christiana</i>	19	43	1980・07	807
坂本 清音	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 アメリカの婦 人たち	20	11	1981・08	846
坂本 清音	海外だより スミス大学キャンパス・ライフ礼讃	22	63	1983・08	983
坂本 清音	学内消息 宗教部だより	25	84	1986・07	1128
坂本 清音	学内消息 宗教部だより	26	109	1987・07	1178
坂本 清音	随想 『ワン・パーパス―ある新島襄像』上演の意義	32	43	1993・07	1435
坂本 武人	随想 教えることと祈ること	2	21	1963・06	31
坂本 武人	大学四季―愛する学生たちとの日々―(俳句)	5	23	1966・07	158
坂本 武人	論評 生活の科学化	7	18	1968・07	246
坂本 武人	良書・良言―巣立ち行く者へのアンケートから	11	35	1972・07	411
坂本 武人	随想 アーモストを訪ねて	13	32	1974・07	513
坂本 武人	論評 女性と学問	16	9	1977・07	650
坂本 武人	随想 しあわせ	26	66	1987・07	1164
阪田 寛夫	同志社とわたしの家族 デントンさん	14	58	1975・11	563
阪田 美枝	随想 ハワイ大学の図書館をみて	13	36	1974・07	515
望月裕美、宇田眞 子、阪田美枝	図書館について 新図書館ができるまで	17	8	1978・07	702
阪田 美枝	随想 伝統行事と和紙―紙衣のこと	28	61	1989・07	1277
司会:酒井 康 出席:酒詰 道子、他	座談会 女子大学と社会	10	12	1971・07	365
佐野 結花	特集・就職 卒業生の声 就職してみて思うこと	27	24	1988・07	1211
猿橋 陽子	海外だより 真夏の夜の夢	19	61	1980・07	813
佐々木 秀美	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 一つのでき ごと？	20	35	1981・08	862
佐々木 尚子	追悼 二十年の御恩―故瀧山徳三先生を偲んで	13	20	1974・07	504

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
佐々木 佳代	ずいそう わが家の食生活	15	31	1976・06	614
佐々木 佳代	海外だより 首都ボンでのくらし	17	42	1978・07	716
佐々木 佳代	随想 ある符合から思うこと	27	46	1988・07	1222
沢田 閏	随想 死について	11	54	1972・07	420
澤田 休仁子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 アメリカ徒然草	20	17	1981・08	850
瀬川 恵子	私たちの学園 大学生生活に思う	6	41	1967・07	215
瀬古 一光	随想 困ること	2	64	1963・06	53
瀬古 一光	学園の四季(俳句)	5	21	1966・07	157
瀬古 一光	学内消息 教務部だより	15	48	1976・06	623
瀬古 一光	学内消息 教務部だより	16	73	1977・07	677
瀬古 一光	学内消息 教務部だより	17	69	1978・07	730
瀬古 一光	研究ノート 染織感	20	59	1981・08	878
瀬古 一光	同志社女子大学を去るに当って	28	70	1989・07	1281
柴田 幸雄	随想 むすぶころ	8	41	1969・07	293
井岡 妙、松村 英世、渋谷 ヒロ子	音楽学科頒啓会沿革	26	32	1987・07	1155
嶋田 邦樹	ずいそう 最近漠然と思うこと	21	49	1982・08	928
嶋田 邦樹	海外だより ちょっと見たアメリカの感じ	31	68	1992・07	1406
嶋田 恭子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 アメリカの思い出	20	34	1981・08	861
清水 宏	研究ノート 「風をはらむ馬」	22	51	1983・08	980
清水 久美子	ずいそう 春を待つ頃	17	55	1978・07	721
清水 久美子	研究ノート 文楽衣裳一光と影	28	40	1989・07	1268
清水 有楽	随想 眠る	2	26	1963・06	34
下村 正臣	ずいそう 子供の頃 私と息子	22	45	1983・08	977
幣原 映智	研究ノート 「遊び」と学問のために	34	34	1995・08	1522
司会:酒井 康 出席:進士 和恵、他	座談会 女子大学と社会	10	12	1971・07	365
司会:近藤 十郎 出席:城内 聡子、他	特集・今、なぜ女子大学なのかー女子大学のなかから女子大学を語る(座談会)	30	11	1991・07	1350
J. J. SONO	研究ノート Songs for the Season	26	63	1987・07	1162
J. J. SONO	研究ノート Ladies First- Thoughts on Lafvadio Hearn	31	43	1992・07	1395
D. A. STROUP	A Brief Comparison of Japanese and American Education	3	6	1964・07	63
杉野 徹	女子大学探訪	26	85	1987・07	1172
杉野 徹	海外だより イギリス・ケンブリッジ便り	34	57	1995・08	1532
杉瀬 祐	同志社女子大学はどのような女性を育てようとしているのか	2	14	1963・06	29
杉瀬 祐	宗教 学内礼拝	2	66	1963・06	54
杉瀬 祐	学内消息 宗教主任室だより	5	50	1966・07	178
杉瀬 祐	学内消息 宗教主任室だより	6	51	1967・07	220

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
杉瀬 祐	ヒバード先生の信仰	7	13	1968・07	245
杉瀬 祐	学内消息 宗教主任室だより	8	57	1969・07	301
杉瀬 祐	学内消息 宗教主任室だより	9	56	1970・07	341
杉瀬 祐	学内消息 宗教主任室だより	10	66	1971・07	379
杉瀬 祐	特集 女子大学の将来 女子教育、共同体、その他について	12	19	1973・07	454
杉瀬 祐	論評 女子大学のキリスト教教育の過去と未来	14	12	1975・11	552
杉瀬 祐	学内消息 宗教主任室だより	14	90	1975・11	578
杉瀬 祐	学内消息 宗教主任室だより	15	56	1976・06	626
杉瀬 祐	学内消息 一般教育だより	16	87	1977・07	683
杉瀬 祐	海外だより ニューイングランド便り	17	46	1978・07	718
杉瀬 祐	「右にも左にも曲ってはならない」－同志社女子大学を去るに際して	19	39	1980・07	806
司会:酒井 康 出席:杉瀬 祐、他	座談会 同志社女子大学の教育と研究	8	10	1969・07	287
B. SUSSER	研究ノート Word Processors and English Buisiness Correspondence	26	61	1987・07	1161
鈴木 八郎	随想 老人	2	60	1963・06	51
鈴木 健司	研究ノート 私の地域研究	33	37	1994・08	1476
鈴木 正三	伝統と革新に思う	33	4	1994・08	1470

T

T・T・	Clapbard Inn	5	16	1966・07	152
田淵 玲子	随想 心と身体のリラクゼーション	34	54	1995・08	1531
司会:市岡 奈々子 出席:高田 寿子、他	座談会 <雑談>一年目の田辺－新学園の創出を語る	26	38	1987・07	1156
高田 賢三	袖振り合うも、他生の縁 一層のご支援を	27	4	1988・07	1200
高田 峯尾	随想 アメリカ女子大の話	1	17	1962・06	6
高田 峯尾	随想 水と私	6	36	1967・07	212
高木 友章	随想 旧田辺学舎の思い出	27	57	1988・07	1227
高木 友章	回想	29	61	1990・07	1325
高原 まり子	研究ノート 壮絶なる星の死、超新星爆発	31	34	1992・07	1391
高桑 法子	随想 あまのじゃくの性別	29	53	1990・07	1321
高見 淑子	随想 すがすがしい日々	11	50	1972・07	417
高山 修	学内消息 図書館だより	6	58	1967・07	225
高山 修	学内消息 図書館だより	7	56	1968・07	261
高山 修	学内消息 図書館だより	8	60	1969・07	302
高山 修	学内消息 図書館だより	11	68	1972・07	428
高山 修	学内消息 図書館だより	12	52	1973・07	473
高山 修	学内消息 英文学科だより	14	95	1975・11	582

T

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
高山 修	学内消息 英文学科だより	15	63	1976・06	631
高山 修	特集・女子と教育 ニコルソン女史のことなど	16	43	1977・07	659
高山 修	学内消息 大学院文学研究科だより	20	97	1981・08	893
高山 修	学内消息 大学院文学研究科だより	21	99	1982・08	943
高山 修	学内消息 大学院文学研究科だより	23	81	1984・07	1036
高山 修	田辺キャンパスへの期待	24	68	1985・07	1073
高山 修	学内消息 大学院文学研究科だより	24	95	1985・07	1082
高山 修	陶器についてのとりとめのない話	26	89	1987・07	1173
高山 修	退職にあたって 同志社と私	34	67	1995・08	1537
司会:武 邦保 出席:児玉 実英、有賀 のゆり、秦 芳江、林 淳	座談会 同志社女子大学の学生を語る	9	12	1970・07	327
武 邦保	学内消息 宗教主任室だより	11	66	1972・07	427
武 邦保	学内消息 宗教主任室だより	12	50	1973・07	472
武 邦保	学内消息 宗教主任室だより	13	47	1974・07	522
武 邦保	世界の中のキリスト教 ヨーロッパを歩いて	15	21	1976・06	608
片桐 哲、武 邦保 (対談)	特集・女子と教育 名誉教授片桐哲先生と語る	16	24	1977・07	653
武 邦保	学内消息 宗教主任室だより	16	82	1977・07	680
武 邦保	有賀鉄太郎教授への思い	17	41	1978・07	715
武 邦保	学内消息 宗教主任室だより	17	76	1978・07	733
武 邦保	海外だより 台湾の南を旅して	18	44	1979・06	764
武 邦保	学内消息 宗教室だより	18	73	1979・06	779
武 邦保	学内消息 宗教室だより	19	85	1980・07	823
武 邦保	学内消息 宗教室だより	20	90	1981・08	889
武 邦保	学内消息 宗教部だより	21	90	1982・08	939
武 邦保	ずいそう 韓国の思い出	22	41	1983・08	976
武 邦保	学内消息 一般教育だより	22	108	1983・08	997
武 邦保	学内消息 一般教育だより	23	87	1984・07	1040
武 邦保	学内消息 宗教部だより	27	95	1988・07	1242
司会:中村 信博 出席:竹間 優美子、他	特集 座談会・「共に生きる」―震災とボランティア	34	9	1995・08	1518
竹村 憲一	随想 ことばと精神作用	8	48	1969・07	296
竹村 憲一	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 スタントンを 想う	20	9	1981・08	845
竹村 憲一	海外だより ケンブリッジ便り	21	51	1982・08	929
竹村 憲一	学内消息 英文学科だより	25	92	1986・07	1131
竹村 憲一	学内消息 英文学科だより	26	121	1987・07	1182
竹ノ内 ユキ	随想 悲しみをこえて	2	44	1963・06	43
竹内 理	海外だより アセス、そしてモントレー	31	66	1992・07	1405

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
竹内 理	研究ノート 『先生、ご専門は？』	32	38	1993・07	1433
瀧山 季乃	随想 随想二題	1	49	1962・06	20
瀧山 季乃	ビーチ先生素描	4	8	1965・07	112
瀧山 季乃	学内消息 研究所だより	5	62	1966・07	187
瀧山 季乃	学内消息 研究所だより	6	60	1967・07	226
瀧山 季乃	学内消息 大学院文学研究科英文学専攻だより	7	67	1968・07	267
瀧山 季乃	学内消息 英文学科だより	8	69	1969・07	306
瀧山 季乃	学内消息 英文学科だより	9	69	1970・07	346
瀧山 季乃	学内消息 大学院文学研究科	10	74	1971・07	384
瀧山 季乃	学内消息 大学院文学研究科だより	11	72	1972・07	431
瀧山 季乃	特集 女子大学の将来 英文学科の場合	12	17	1973・07	453
瀧山 季乃	越智文雄前学長に感謝を	14	76	1975・11	571
瀧山 季乃	定年を迎えられた先生 『しばぐさ』今昔	19	32	1980・07	802
瀧山 徳三	公私ご赦免のこと	1	12	1962・06	5
瀧山 徳三	片桐先生の信念	5	12	1966・07	148
瀧山 徳三	ヒバード先生	7	8	1968・07	244
瀧山 徳三	特集 ミス・デントン 昔話	11	14	1972・07	408
児玉 実英	追悼 瀧山徳三先生の学風	13	19	1974・07	503
佐々木 尚子	追悼 二十年の御恩一故瀧山徳三先生を偲んで	13	20	1974・07	504
玉田 佳子	研究ノート 英雄不在の時代ー小市民の世界	25	34	1986・07	1105
玉田 佳子	海外だより スミス女子大学通信(米国、マサチューセッツ州)	27	58	1988・07	1228
玉田 佳子	随想 オルゴオル	31	46	1992・07	1396
玉木 ダーナ	特集・女性と社会 Women in History	21	29	1982・08	918
玉木 ダーナ	Graduation	24	44	1985・07	1062
玉置 日出夫	随想 ショッピング・タウン	4	21	1965・07	117
玉置 日出夫	家政東館(KT館)の思い出	18	27	1979・06	755
玉置 日出夫	学内消息 教務部だより	12	44	1973・07	469
玉置 日出夫	随想 豊年虫	13	29	1974・07	510
玉置 日出夫	学内消息 教務部だより	13	40	1974・07	519
玉置 日出夫	学内消息 教務課だより	14	82	1975・11	575
玉置 日出夫	学内消息 家政学部だより	18	81	1979・06	785
玉置 日出夫	学内消息 大学院家政学研究科だより	18	82	1979・06	786
玉置 日出夫	学内消息 家政学部だより	19	93	1980・07	829
玉置 日出夫	学内消息 大学院家政学研究科だより	19	94	1980・07	830
玉置 日出夫	研究ノート 酵母とのつきあい	21	58	1982・08	931
玉置 日出夫	学内消息 教務部だより	23	60	1984・07	1028
玉置 日出夫	学内消息 教務部だより	24	77	1985・07	1075

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
玉置 日出夫	学内消息 教務課だより	25	73	1986・07	1125
玉置 日出夫	学内消息 教務部だより	27	85	1988・07	1240
玉置 保巳	夏日	15	34	1976・06	616
玉置 保巳	ずいそう 暗い歴史の谷間で	24	62	1985・07	1070
玉置 保巳	学内消息 一般教育だより	26	131	1987・07	1187
玉置 保巳	学内消息 一般教育だより	27	113	1988・07	1251
玉置 保巳	失われし時を求めてー読書アンケートをふりかえって	31	32	1992・07	1390
玉置 保巳	退職にあたって 諸国の天女たち	33	65	1994・08	1489
田邊 繁子	特集・女性と社会 同志社で学ぶ日まで	21	11	1982・08	912
田中 初恵	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 有意義だった34日間の夏休み	20	36	1981・08	863
田中 順二	短歌 茫々雑歌	1	30	1962・06	12
田中 順二	歌碑解説	3	1	1964・07	61
田中 順二	晩冬小詠(短歌)	5	13	1966・07	149
田中 順二	学内消息 一般教育だより	6	56	1967・07	224
田中 順二	学内消息 一般教育だより	7	62	1968・07	264
田中 順二	学内消息 一般教育だより	8	75	1969・07	309
田中 順二	学内消息 一般教育だより	9	76	1970・07	349
田中 順二	学内消息 研究所だより	12	53	1973・07	474
田中 順二	特集 旅 歌集の中から	13	11	1974・07	498
田中 順二	特集 図書館と私 図書館について	15	9	1976・06	601
田中 順二	学内消息 図書館だより	15	59	1976・06	627
田中 順二	短歌五十年そぞろごとー研究と創作の間より	16	54	1977・07	664
田中 順二	学内消息 図書館だより	16	86	1977・07	682
中 皓	田中順二先生へ	16	56	1977・07	665
種谷 俊一	同志社とわたしの家族 教会の奥さん	14	64	1975・11	565
谷 友幸	随想 寸感	5	41	1966・07	171
谷川 和子	随想 笑いの尊重	1	33	1962・06	14
谷川 和子	本学におけるビッグシスター リトルシスター活動	4	11	1965・07	113
谷川 和子	キャンプをふりかえって	10	37	1971・07	366
寺川 真智夫	研究ノート 「アサズ飲せ」考	28	42	1989・07	1269
俵 良	ずいそう あの頃のこと	17	61	1978・07	725
俵 良	ずいそう 去る日も近かく……	18	56	1979・06	770
N. J. TEELE	研究ノート 『古今集』における「Self」	28	45	1989・07	1270
N. J. TEELE	随想 Looking Around Us	34	48	1995・08	1528
徳本 満彌	特集・就職 企業からの声 女性と仕事	27	17	1988・07	1206
富田 和香	特集・女子大学の就職戦線 社会人一年生からのアドバイス 就職活動をされる皆さんへ	32	31	1993・07	1430

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
鳥井 晴子	随想 朝・メモ帳	7	37	1968・07	251
津上 英輔	随想 遠くなった街	28	48	1989・07	1271
津上 英輔	研究ノート わたしのオンガクガク	31	40	1992・07	1394
辻 英子	研究ノート 絵空事の迫真性ー今日の演劇の一課題	27	32	1988・07	1216
辻 裕子	ずいそう 母親教師雑感	17	58	1978・07	723
辻 裕子	学内消息 英文学科だより	22	101	1983・08	992
辻 裕子	学内消息 英文学科だより	23	79	1984・07	1035
辻 裕子	追悼 ベッドフォード先生をお偲びして	25	38	1986・07	1108
辻 裕子	研究ノート 私のミルトン	32	33	1993・07	1431
遠 順子	卒業生訪問記 花壇に舞う蝶の如きー東京・「明治会」を訪れて	14	69	1975・11	568
恒藤 節子	ソヴィエトにも教育ママがいる	6	10	1967・07	199
恒藤 節子	随想 ある人生	13	26	1974・07	508
恒藤 節子	学内消息 研究所だより	13	50	1974・07	524
恒藤 節子	学内消息 研究所だより	14	92	1975・11	579
恒藤 節子	特集・女子と教育 「女子と教育」雑感	16	35	1977・07	654
恒藤 節子	定年を迎えられた先生 望月先生をお送りすることば	23	14	1984・07	1014
恒藤 節子	同志社と私	24	35	1985・07	1057
石田 章	恒藤(節子)先生をお送りする言葉	24	37	1985・07	1058

U

U

内田 美智子	同志社を去るに際してー私の収穫	19	38	1980・07	805
望月裕美、 宇田眞子 、 阪田美枝	図書館について 新図書館ができるまで	17	8	1978・07	702
宇田 眞子	藤本先生、ご苦労さまでした	24	41	1985・07	1060
宇田 眞子	随想 聖書の地を旅して	32	55	1993・07	1440
植田 一夫	研究ノート 秋成の血の思惟が求めるもの	24	50	1985・07	1065
植田 将裕	ずいそう 舟引路案内	25	67	1986・07	1122
尾崎 寔	追悼 植田将裕 先生	25	40	1986・07	1109
上野 直蔵	新入学生を迎えて	15	6	1976・06	600
上野 瞭	研究ノート アメリカの児童文学者	14	74	1975・11	570
上野 瞭	ずいそう ワルシャワ行き	19	66	1980・07	816
上野 瞭	藍より青くー渡邊先生をお送りする言葉	24	33	1985・07	1056
上野 瞭	退職にあたって 次の駅で降ります	33	67	1994・08	1490
上野 瞭	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 アメリカでの新鮮な日々	20	37	1981・08	864
宇喜田 敬介	随想 外国文学と日本の文学	5	41	1966・07	172
宇喜田 敬介	特集 旅 ロンドンの一隅で	13	13	1974・07	499
宇喜田 敬介	定年を迎えられた先生 岡本昌夫先生のこと	15	42	1976・06	619

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
宇喜田 敬介	学内消息 英文学科だより	16	89	1977・07	684
宇喜田 敬介	学内消息 英文学科だより	17	82	1978・07	737
宇喜田 敬介	学内消息 図書館だより	19	88	1980・07	825
宇喜田 敬介	学内消息 図書館だより	20	94	1981・08	891
宇喜田 敬介	学内消息 図書館だより	23	78	1984・07	1034
宇喜田 敬介	学内消息 図書館だより	24	93	1985・07	1080
宇喜田 敬介	学内消息 図書館だより	25	91	1986・07	1130
宇喜田 敬介	学内消息 大学院文学研究科だより	27	106	1988・07	1247
宇野 好美	ずいそう 警鐘の余韻	23	58	1984・07	1027
魚木 あさ	世界の中のキリスト教 ”世界の動きのなかで”	15	24	1976・06	609

W

和田 ミチ子	随想 備前から讃岐へ	11	52	1972・07	419
和田 ミチ子	退職にあたって 同志社を去るにあたって	32	67	1993・07	1446
脇田 晴子	随想 男女同権	5	42	1966・07	173
渡邊 英一	俳句 プレーダー雑詠	1	25	1962・06	9
渡邊 英一	春五題(俳句)	5	18	1966・07	154
渡邊 英一	学内消息 学生課だより	5	47	1966・07	176
渡邊 英一	学内消息 図書館だより	9	59	1970・07	342
渡邊 英一	学内消息 図書館だより	10	68	1971・07	380
渡邊 英一	ずいそう 母の暮らし	15	32	1976・06	615
渡邊 英一	研究ノート 私の家政学原論覚え書き	22	56	1983・08	981
渡邊 英一	定年退職に際してー今は亡き先生方を偲んで	24	30	1985・07	1055
渡邊 英一	学内消息 宗教部だより	24	88	1985・07	1078
上野 瞭	藍より青くー渡邊(英一)先生をお送りする言葉	24	33	1985・07	1056
S. W. WELLMAN	研究ノート The Face in the Mirror	29	34	1990・07	1312
S. W. WELLMAN	研究ノート The Road at Your Feet	34	36	1995・08	1523
J. D. WICKS	随想 My Year of Teaching at Doshisha	2	28	1963・06	35
M. T. WILLIAMS	わたしの「召命」	29	59	1990・07	1324
A. L. WINN	随想 Our Other Heart	4	29	1965・07	122
A. L. WINN	The Giant Computer	17	39	1978・07	712
望月 満子	ウイン(Winn, Anne L.)先生のこと	17	34	1978・07	711

Y

山田 正章	研究ノート シャーロット・ブルック嬢のことなど	20	54	1981・08	876
山田 正章	ずいそう 元衝の碧玉	22	36	1983・08	973
山田 光子	ずいそう 一椀の米	17	57	1978・07	722

W

Y

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
山田 恭正	随想 年賀状を見て思ったこと	29	51	1990・07	1320
山本 文雄	随想 英会話	11	51	1972・07	418
山本 文雄	学内消息 総務部だより	11	62	1972・07	426
山本 文雄	学内消息 総務部だより	12	49	1973・07	471
山本 文雄	学内消息 総務部だより	13	44	1974・07	521
山本 文雄	学内消息 総務部だより	14	88	1975・11	577
山本 文雄	学内消息 総務部だより	15	54	1976・06	625
山本 文雄	学内消息 総務部だより	16	79	1977・07	679
山本 文雄	学内消息 総務部だより	17	74	1978・07	732
山本 文雄	梨木学舎購入のいきさつ	18	33	1979・06	758
山本 文雄	学内消息 総務部だより	18	70	1979・06	778
山本 文雄	学内消息 総務部だより	19	82	1980・07	822
山本 文雄	学内消息 総務部だより	20	87	1981・08	888
山本 文雄	学内消息 総務部だより	21	88	1982・08	938
山本 文雄	学内消息 総務部だより	22	90	1983・08	988
山本 文雄	学内消息 総務部だより	23	70	1984・07	1031
山本 文雄	学内消息 総務部だより	24	85	1985・07	1077
山本 文雄	不思議な御手に導かれて	25	58	1986・07	1117
山本 裕樹	随想 アメリカ留学記	34	50	1995・08	1529
山本 寿	研究ノート 素粒子論とその周辺と私	34	39	1995・08	1524
松山 義則	山本覚馬先生のこと	30	7	1991・07	1349
司会:市岡 奈々子 出席:山本 裕子、他	座談会 <雑談>一年目の田辺一新学園の創出を語る	26	38	1987・07	1156
山根 佳子	特集・女子大学の就職戦線 社会人一年生からのアドバイス 私らしく生きること	32	29	1993・07	1430
司会:近藤 十郎 出席:山下 美穂、他	特集・今、なぜ女子大学なのかー女子大学のなかから女子 大学を語る(座談会)	30	11	1991・07	1350
司会:赤塚 忠一 主席:山内 睦子、他	座談会 今年の就職を振り返って	24	4	1985・07	1053
山内 敏宏	満ち潮にのって	31	4	1992・07	1387
山脇 キク	随想 寮の窓より	2	38	1963・06	40
山脇 キク	学内消息 学寮だより	7	71	1968・07	269
柳田 耕治	ずいそう 思い出すままに	23	52	1984・07	1024
安井 比沙子	随想 万葉集と「ローレライ」	12	42	1973・07	468
安見 泰子	随想 松島の日	6	37	1967・07	213
安森 敏隆	随想 見ゆるものことごとく見むー沖縄にて	28	55	1989・07	1274
余田 由香利	随想 海からの贈物	29	40	1990・07	1314
横尾 百合子	随想 おもいつくままに	9	37	1970・07	330
吉田 固行	ずいそう 春の腹祭り	18	58	1979・06	771

執 筆 者	タ イ ト ル	号	ページ	刊行年月	番号
吉田 裕美子	特集 一九八〇年度同志社女子大学海外研修 素晴らしい体験	20	38	1981・08	865
吉海 直人	研究ノート 「つれなく見えし」小考―百人一首三十番歌について	29	30	1990・07	1310
J. G. YOSHIKAWA	随想 The Two Gardens	5	45	1966・07	174
J. G. YOSHIKAWA	In Alice's Looking-Glass Land	14	79	1975・11	572
中島 和子	吉川(Yoshikawa, June)先生のこと	14	80	1975・11	573
吉光 則子	ずいそう 雑感	18	59	1979・06	772
吉光 則子	随想 芭蕉のことなど	33	48	1994・08	1481
吉本 正典	特集・就職 企業からの声 ささやかなアドバイス	27	9	1988・07	1202
吉野 政治	随想 韓国・中国訪問記	26	71	1987・07	1167
吉岡 ますみ	小山先生追悼の記 小山先生を偲んで	22	33	1983・08	972
吉武 和代	随想 クレアモントから	9	41	1970・07	332
吉見 啓子	学園の四季 メサイアに寄せて	16	67	1977・07	672
湯浅 八郎	同志社創立九十周年におもう	5	4	1966・07	146
湯浅 永年	随想二 音楽鑑賞	2	19	1963・06	30